

# 琉球大学学術リポジトリ

## 琉球舞踊譜 (8) : 女踊り・諸屯譜

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学教育学部 公開日: 2014-11-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 金城, 光子, Kinjo, Mitsuko メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/29952">http://hdl.handle.net/20.500.12000/29952</a>

# 琉球舞踊譜 (8)

～女踊り・諸屯譜～

金城光子

Ryukyuan Dance Notation (8)

The Notation of Woman's Dance : Shudun

Mitsuko KINJO\*

(Received April 28, 1994)

Abstract

This paper is a case study of the Ryukyuan Dance notation applying to a classical dance, "Shudun," one of the woman's seven dances. The main concern of this dance is the notion of a wife's feeling of loneliness and melancholy for the absence of her husband. As observed in the previous paper, the notation has the following characteristics to present the dance from various perspectives: 1) the movements of the body clearly shown by pictures, 2) the notation of the movements and the music, 3) the combination of the picture-figure notation, fugo notation, and the symbols consist of the notation of "Shudun," 4) the explanation of the dance, 5) the songs, and 6) the way to dance.

## 1 「諸屯」舞踊について

この踊りは手具（小道具）を持たない素手で踊ることから「女手踊り」と呼ばれており、女踊りの表現形式と表現手法の基本的要素をもつ踊りであり、古典女踊りの中でも踊りの表現的内容および表現技法の特色を有しているもので、典型的な

作品の一つである。

「諸屯」舞踊に使用されている音楽は、『「仲間節」「諸屯節」「しょんがない節」』の三曲で、舞踊作品の構成は三つの曲からなる三部構成である（三つの音楽については本紀要の末尾の楽譜を参照のこと）。

舞踊曲の三曲の歌詞は次のように歌われている。

---

\* Phys. Educ., Coll. of Education, University of the Ryukyus.

## 2 諸屯舞踊の歌詞

- (1) 思<sup>フムクツ</sup>事<sup>マ</sup>の有<sup>ア</sup>ても 他<sup>ニ</sup>所<sup>ニ</sup>に語<sup>カ</sup>られ<sup>ミ</sup>み  
薄<sup>ウスカ</sup>風<sup>ゾト</sup>と連<sup>ツ</sup>れて 忍<sup>シメ</sup>で<sup>ツ</sup>拜<sup>マ</sup>ま

—出羽踊（仲間節）—

Umukutu nu atin

Yusuni kataratimi

Usukajitu chiriti

Sinudi wugama (njifaudui)

—(Nakama bushi)—

- (2) 枕<sup>マクラ</sup>並<sup>ビ</sup>べたる 夢<sup>ユメ</sup>のつれな<sup>ツ</sup>さ<sup>ツ</sup>よ  
月<sup>ツキ</sup>や西<sup>イリ</sup>下<sup>イリ</sup>が<sup>テ</sup> 冬<sup>フユ</sup>の恋<sup>コイ</sup>し夜<sup>ヤ</sup>半<sup>ハ</sup>

—中踊（諸屯節）—

Makura narabitaru

Yuminu chirinasayu

Chichiya irisagati

Fuyunu Kuishi yafan (Nakaudui)

—Shudun bushi—

- (3) 別<sup>タイ</sup>て面<sup>ツ</sup>影<sup>カク</sup>の 立<sup>ツ</sup>たば伽<sup>カ</sup>召<sup>メ</sup>しやう<sup>レ</sup>れ  
馴<sup>ナ</sup>れし匂<sup>ニ</sup> 袖<sup>スエ</sup>に移<sup>ウ</sup>ち有<sup>ア</sup>る<sup>モノ</sup>

—入羽踊（しょんがない節）—

Wakati umukajinu

Tataba tujimishori

Narishi niui

Sudini uchuchi a munu (irifaudui)

—Shonganē bushi—

## 3 歌詞解説<sup>3)</sup>

- 『(1)「恋のなやみを他人に語ることができようか。そよ風と一緒にこっそりお会いしに行こう」の意。  
(2)「恋しい人と手枕を交わしている夢からふと覚えた。何んとあじない夢であるよ。戸を繰れば冬の月はすでに西に傾いて、真夜中の静寂がひしひしと身に泌みる」の意。  
(3)「お別れしてから私の面影が浮かびましたから、添寝の料にして下さい。馴染んだ移り香は袖に泌みて居ましよう程に」『また、この「諸屯節」は、古典音楽中でも次高峰に属するもので作田節、首里節、ちゃんな節、暁節と並んで「前の五節」又は「昔節」と呼ばれる。』

## 4 「諸屯」舞踊の解説

『「諸屯」の踊りは古典舞踊中の最上級の一つで、「枕並べ……」のところの「まくら手」や「三角目付」の所作は絶妙である。』<sup>3)</sup>

『……独り寝の女のかなしい心情をうたったものと解されるが、こうした歌詞内容に振りつけられた女踊り「諸屯」であってみれば、踊りも当然、女の哀愁にみちた「愁い」の踊りといえる。そして踊り自体にも「愁い」に身をつつむ女の色気（情緒）がにじみ出ていなければならず「愁い」の中から漂い出てくる色気（情緒）が、この踊りの重要な要件としてのぞまれてくる。』<sup>3)</sup>

『「みどころ」上にのべたような、色気（情緒）にみちた女の「愁い」の表現は、「諸屯節」の冒頭の詞「枕なら……」のところでもなされる「三角目付」（さんかく・みちち）によって最高に表現されるのだが、この「三角目付」は、また「諸屯」の踊りの中でももっとも特徴的な所作であり、かつ踊りの技術的な面でも難所とされている。』<sup>3)</sup>と述べられている。

阿波根は<sup>5)</sup>,

『（評釈）……恋に悩む女のやるせない感情を表現し、荒涼感の漂う夢幻美を構成する……』『（評釈）を枕を並べて語らった夢は覚えてはかない。驚いて軒先に出て見れば、荒涼たる冬の月が、やがて西に没しようとしている、という情景で

ある。失恋の女、あるいは愛人に死なれ失意の女の、悲哀と苦悩、人の胸に迫るような感じがする。』と記している。

西平<sup>50</sup>は次のように述べている。

『……中踊りの諸屯節は更年期女性の空欄の悲哀を象徴的に表現した踊り……。』

『この踊りの見どころとしては、最初の「枕なら」までの「三角目付」は夢見る心地を表現し「びたる」で思い出の異性に右手をかけ、またこれをとりかへて左手に枕をおきかえる象徴的動作は、何れの国の踊りにも見出せない最高級のもの……。』『……更に「夢のつれなさや」で「思い入り」深く、ついて廻りさらに、「月も西下がて」で「月見手」をかざして、思入れをするところ、あるいはハヤシの「ユーザー」両手をくみ、ふりかへって思入れをするところ、最後の「抱き手」などが見所……』

## 5 「諸屯」の表現内容について

上記したように、歌意および踊りについては専門的立場から各人の解説がなされている。歌詞と歌意からこの踊りの表現内容をとらえようとすれば、当然文学的見地からこの歌の意味と歌心を踊りでどのように表現するかに焦点がしばられるであろうと解される。

言うまでもなく舞踊は人間感情の表現形式であり、踊り表現(振り)はこの感情の発露・表出(expression)としての Filling form である。したがって、この踊りの表現内容は歌詞の意味、歌心を土台として受けとめ、かつ消化しつつ、主題である「女心の“さびしさ”“なげき”“わびしさ”」の感情を舞踊作品の全形に組み入れていくのである。舞踊表現は感情の表現であるという意味で、舞踊作品「諸屯」の表現内容を次のように示す。

① 「出羽踊りと中踊り」は、「人恋うる内面的な“思い”をこめた女の“さびしい”心情」—夢からさめ、はっとして窓を開けると西に傾いた月光がさっ—とさしこんできた。胸をかきたてられる思いである『チムンチムナラン』。ああ……あの月がこの“思い”(胸の中)を知ってくれるであろうか……。

② 「入羽踊り」は、「わが身とわが心をなだ

めつつ“わびしさ”をかみしめて耐える女のさりげない表象」—切ない“わびしい”“思い”である。……でもあなたの匂いをこの袖に移してありますもの。—

この踊りについては、先述のようにすでに1986年に、本紀要第20集に詳細に記述した。

また、すでに報告したように古典女踊りの典型的な様式と女性の感情表象を内容としており、技法においても、他に比類のない例えば「三角目付」などがあり、舞踊コンクールの最高賞の課題作品でもある。

## 6 「諸屯」の踊り方と組立て

この踊り方は、「諸屯の全体構造」と照合して見ていただきたい。

[1] 出羽「仲間節」(1~451コマ：8ミリフィルムのコマ数)

下手奥から上手前への斜線上をすり足で歩いて、舞台中央寄りに位置し、“女立ち”となる。

[2] 出羽踊り(452~3491コマ)

(1) “女立ち”から動きの開始(始動：first-motion)。上手前への斜線上を左足から5歩あるき、右足を曲げて出し上体をやや右にたおしながら左足を前方へすり出し、つま先を上げ体を前方に押し出ししながら、左足に右足をそえて突く。上体をゆっくり正常位にもどす。

(2) 左回りして、上手から下手への斜線上を左足から左-右-左-右と4歩あるく。

(3) 左回りすると同時に右足に重心をかけて膝を曲げ、左足を左斜前方へすり出し、体を左斜方へねじり向ける(左ガマク入れ)。左足に右足をそえながら体を前方へ押し突き、上体をゆっくり正常位にもどす。

(4) 左足を深く曲げて右足を右斜前方へすり出し、体を右斜前へねじり向け(右ガマク入れ)。右足に左足をそえながら体を前方へ押し出し、ゆっくり上体を正常位にもどす。

(5) 左回りして左足から左-右-左-右と4歩

下手へ向かって進み、左回りして上手前へ向き“女立ち”となる。

(6) <後奏>“女立ち”から、動きの開始(始動)に入り、左足から中央へ2歩進み3歩目の左足で左回りして中央奥へ向き左足から8歩あるきながら中央部で後向きに“女立ち”となる。

### [3] 中踊り「諸屯節」(3492~16658コマ)

(1) <前奏>で“女立ち”から始動。左回りして舞台前方へ向き、“女立ち”となる。

(2) “三角目付”ち。“女立ち”のまま三角目付ちを行う。(13「諸屯」の踊り図7-①②③)

(3) “枕手”(右手枕)。“女立ち”から右足を前に出すと同時に、両手を体前に出し両手を上にあげて、右足に重心を移して曲げながら左足を左斜前にすり出し、(つま先上げ)同時に、右手を耳元にそえ、左手を左斜下へ降して“右手枕”となる。次いで、左手を上へあげて手をこねり押しあげて左斜下へ降ろす。左掌をもちあげるように外側へ回して手をこねる。

(4) 左手枕。左足を右足前に出しながら、両手を体前におき上へもち上げて左手は耳元へ右手は右斜下に降ろしながら左膝をまげ、右足を右斜前方すり出し(つま先き上げ)、“左手枕”となる。

右手を上へあげながら右足をひき、両手をこねらせて両膝をまげ、両手を頭上へ押しあげて“女立ち”となりながら、両手を上から下へおろす(けし手、こねり手)。

(5) “袖とりあごあて”。左足を引き、右足を右横に一步出ししながら、左手で袖口をつかみ、あごにあてて左足を出し、両膝を曲げながら上体を正面へ向け(ガマク入れ)、左足から中央前へ9歩進み、右足を曲げて出し、上体をやや右にたおしながら左足を前方へすり出し(つま先あげ)体を前方へ押し出ししながら突く。上体を正常位にもどす。左回りして中央奥へ向きながら、左手(袖とり)をゆっくり下へおろす。

(6) “指組み”。舞台中央へ、左-右-左と3歩進み、両手を体側より頭上へあげ、右足を左足前に出しながら、両手の指を組みつつ体前へ降ろし、左足に右足を交差して体を前方へ向けて見る。

右足を右に出しながら、舞台中央奥へ向き両指

をといて体側にもどす。

(7) 中央奥へ向かって、左足から6歩進む。

<間奏>

(8) “月見手”。左足を左斜前に出しながら左手を右斜前へ上げ、両膝を曲げながら、上体を前方へ向けつつ、左手を右横から左斜前へ移動させ両膝をやや伸ばしながら、左手のひらを左前に向けて顔面上部でとめて“月見手”となる。

“月見手”のポーズのまま、両膝をゆっくり曲げながら両ひざまげで座わり、ゆっくり立ち上がり、右斜前へ右足を出して膝を曲げながら上体を前方へ向け(左ガマク入れ)左足をやや右足方向に移動させてから左足より舞台中央前へ7歩進み、次いで右足をまげて出し、左足を前方へすり出し(つま先上げ)左足に右足をそえながら、体を前へ押し出して突く。

次いで、左回りしながらゆっくり左手をおろし、中央奥へ向く。

(9) 左-右と2歩中央部へ進み、左回りをして、前方へ向き両手を体前でそろえる。(両手とも袖口をつかむ)右膝を深くまげて、左足を左前方へすり出し(つま先あげ)体を左斜前へねじりむけ(左ガマク入れ)左足に右足をそえながら、体を前方へ押し出して突き、上体を正常位にもどす。

(10) 左膝を深くまげ、右足を右斜前へすり出し(つま先あげ)上体を右斜前へねじり向け(右ガマク入れ)右足に左足をそえながら体を前方へ押し出し突き、上体を正常位にもどす。

左回りしながら、両手を体側にもどして中央奥へ向く。

(11) 左足から8歩中央奥へ進む。

(12) “抱き手”。(左斜上抱き手)左回りしながら、両手を右横から体前へ解緊して降しつつ、右膝をまげて左足を左斜前へすり出し(つま先上げ)左足をそえながら、両手を左斜上へ上げ、アクセントとともに“抱き手”のポーズとなる。

(13) 両手を左斜上から体前へ解緊して、降しながら左膝を深くまげ、右足を右斜前方へすり出し(つま先あげ)両手を右斜上にあげながら、右足に左足をそえアクセントとともに“抱き手”のポーズとなる。

両膝をまげながら、両手を体前におろし右足を1歩出しながら、両手を上にもちあげ、両膝を曲

げながら“両手をこねり”，“女立ち”となりながら両手を上へ押しあげて体前を通して体側へもどす。

[4] 入羽踊り「しょんがない節」  
(16475~18022コマ)

(1) “女立ち”から動きの開始(始動)，左足から3歩中央前へ進み，右足をまげて出し左足を前方へすり出し(つま先あげ)左足に右足をそえながら，体を前方へ押し出して突き，上体を正常位にもどす。

(2) 左回りして左足から3歩進み，上手前から下手奥への斜線上に左足で立ち左回り(角切り)して下手奥に向く。

(3) “袖とり”。左足から4歩進み，左足をまげて出しながら，両手で左右の袖をすくいとり左足に右足をそえながら上体を上手前に向けて“袖とりポーズ”となる。

上体を下手奥へ向けながら右まわりして，両手の袖をゆっくり降して，手を体側にもどして下手奥に向く。

[5] 入羽(18023~18478)  
右足から下手奥へ向かって退場する。

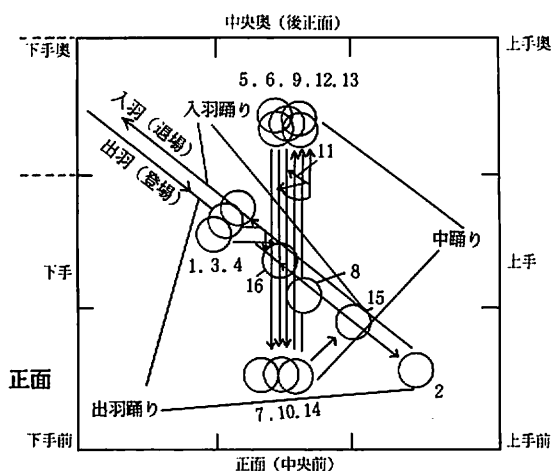


図1 「諸屯」の舞台上の踊り軌跡概略図

7 「諸屯」の舞台上の移動(図1)

[出羽] 登場，踊りの開始(前奏)

1. 女立ち・出羽終止，出羽踊りの開始(フレーズ①の開始)(歌)
2. 左足つき，左まわり(フレーズ①の終止，フレーズ②の開始)
3. 左まわり・ガマク入り(左・右)左まわり(フレーズ②の終止，フレーズ③の開始と終止，フレーズ④の開始)
4. 左まわり・女立ち(フレーズ⑤の終止，「出羽踊り」の終止，「出羽踊り」の後奏の開始)
5. 女立ち(出羽踊りの後奏の終止，「中踊り」の開始・始動・左まわり女立ち(前奏))
6. 女立ち・三角目付(フレーズ①の開始と終止)枕手(左手，右手まくら)けし手・こねり手・女立ち(フレーズ②の開始と終止)袖・あごあて(フレーズ③の終止)
7. 袖・あごあての終止・左足つき，左まわり，(フレーズ③の終止，④の開始)
8. 右まわり・指くみ，左まわり(フレーズ④の終止，中央奥へ歩行)(間奏)
9. 左まわり・月見手・座りポーズ(フレーズ⑤の開始)
10. 月見手の終止・左まわり(フレーズ⑤の終止)中央奥へ歩行
11. 左まわり・袖あわせ・ガマク入り(左右)左まわり(フレーズ⑥の開始と終止)
12. 左まわり・抱き手(左斜上，右斜上)，けし手・こねり手・女立ち(フレーズ⑦の開始と終止)「中踊り」の終止
13. 女立ち・始動「入羽踊り」の開始(フレーズ①の開始)
14. 左足つき・左まわり(フレーズ①の終止，②の開始)
15. 角切り・左まわり(フレーズ②の終止)
16. 袖とり・ポーズ，右まわり(フレーズ③の開始)「入羽踊り」の終止{「入羽」退場，踊りの終止}(後奏)

## 8 "SHUDUN"

### OUTLINE OF "SHUDUN"

"Shudun," a masterpiece of woman's dance, is well known as one of "Tī-Udui" (woman's classical hand dance), which is performed with no properties. Characteristic hand-techniques are as followed: 1)"Suditui-Aguati" (the left hand with the sleeve on the chin), 2)"Makuradi"(pillow hand), 3)"Chichimidi" (looking up the moon with a hand), and 4)"Dachidi" (embrace hand). Besides those hand-techniques, an eye-technique also contributes an important portion to the dance: "Sankaku-Mejichi," expressing the woman's feeling and passion with no movements but with only her eye-movements.

The theme of "Shudun" is expressing a woman's burning passion, which she keeps under control, and the compressed feeling in an art of stillness. Three songs are performed to represent the theme: 1) "Nakama-bushi," 2) "Shudun-bushi," and 3) "Shonganē-bushi."

### LYRICS OF "SHUDUN"

- 1)Umukutu nu atin  
Yusuni katararimi  
Usukajitu chiriti  
Sinudi wugama (Nakama-bushi) - Njifa-udui
- 2)Makura narabitaru  
Yuminu chirinasayu  
Chichiya irisagati  
Fuyunu (Kuishi) yafan (Shudun-bushi) - Naka-udui
- 3)Wakati umukajinu  
Tataba tujimishori  
Narishi niui  
Sudini uchuchi amunu (Shonganē-bushi) - Irifa-udui

## 9 CHOREOGRAPHY OF "SHUDUN"

"Njifa"(entrance) - 1)hand on each side then slide walk towards the center (Fig.1-11), 2)stretch the left leg with toes up (Fig.12-14).

((1)) - 1)twist the left foot inward (Fig.15-16), 2)walk 7 diagonal steps to the left starting with the left foot (Fig.17-23), 3)cross the right foot over the left then stretch the left leg; close the feet with the right (Fig.24-28), 4)make a small half turn to the left (Fig.29-34), 5)walk 4 steps starting with the left (Fig.35-38), 6)make a small quarter turn to the left; place the right foot a little forward over the left then stretch the left leg to the side with toes up (Fig.39-46), 7)maintaining the feet position, twist the body to the left then close the feet with the right (Fig.47-50), 8)twist the body to the right then stretch the right leg to the right side; twist the head then to the same direction and close the feet with the left (Fig.51-57), 9)make a small half turn to the left (Fig. 58-62), 10)walk 4 steps starting with the left (Fig.63-66), 11)make a small quarter turn to the left (Fig.67-71), 12)stretch the left leg to the side (Fig.72-73).

((2)) - 1)twist the left foot inward (Fig.74-75), 2)make a small quarter turn to the left (Fig.76-80), 3)walk 2 steps starting with the left (Fig. 81-85), 4)step the right foot then stretch the left leg to the side (Fig. 86-89).

((3)) - 1)make a small half turn to the left then stand on the female standing form (Fig.90-96), 2)twist the left foot inward then stand on the female standing from (Fig.97-101).

((1)) - 1)maintain the standing form (Fig.102-106), 2)maintaining the form still, move the head little to the right (Fig.107-113), 3)do the previous sequence again to the left this time (Fig.114-121), 4)twisting the left foot inward, step forward and close with the right while clapping slightly at the left side (Fig.122-125), 5)step the left foot a little to the side while moving the hands up (Fig.126-129), 6)stretch the left leg to the side while lowering the left hand to the side and maintaining the right at the head level with palms up (Fig.130-132), 7)maintaining the feet and right hand position, do the left hand front "konerite" until down to the side (Fig.133-141), 8)move the hands to the center in such a way that palms face each other (Fig.142-145), 9)join the middle and the thumb of each; raise both hands up on the left side doing the two-hand "konerite"; stretch the right leg to the side and lower the right hand down while the left moves up to the head level (Fig.146-154), 10)maintaining the feet and left hand position, do a half right hand "konerite" (Fig.155-156), 11)close the feet together then do a two hand front "konerite"; stand on the female standing form while lowering the hands (Fig.157-163).

((2)) - 1)step the right foot backwards; face right then hold the left sleeve of the kimono with the left hand and move the hand to the chin; turn the face to the left then close the feet with the right (Fig.164-172), 2)8 slide walk forward starting with the right (Fig.173-182), 3)do the left leg thrust (Fig.183-187), 4)make a small half turn to the left while lowering the left hand to the side (Fig.188-195), 5)walk 2 steps starting with the left (Fig.196-197), 6)make a small half turn to the right while moving the hands up then cross the hands at the waist level (Fig.198-206), 7)uncross the hands while moving them to each side (Fig.207-211), 8)walk 5 steps starting with the left (Fig.212-216), 9)cross the left foot over the right then make a half turn while moving the left hand up to the head level in the "tsukimite" form (Fig.217-228), 10)maintaining the hand position, lower down with the right knee almost to the floor then stand up again (Fig.229-233), 11)move the left hand to the right side then back to the left side again (Fig.234-237), 12)walk 3 steps forward starting with the left then do the left leg thrust (Fig.238-244), 13)make a small half turn to the left while lowering the hand down (Fig.245-250), 14)walk 3 steps starting with the left (Fig.251-253), 15)make a small half turn to the left while gathering the hands close-fisted at the center; stretch the left leg to the side then close with the right foot (Fig.254-263), 16)stretch the right leg to the side then close with the left (Fig.264-269),



17)make a small half turn to the left while lowering the hands to each side (Fig.270-275), 18)walk 4 steps starting with the left (Fig.276-279), 19)make a small half turn to the left while moving the hands with open palms to the head level and at the same time stretching the left leg to the side; close the feet with the right foot (Fig.280-289), 20)stretch the right leg to the side while moving the hands down once then up to the right side; close the feet with the left (Fig.290-298), 21)lower the hands to each side once then do the two hand "konerite", and stand on the female standing form while moving the hands down (Fig.299-309).

((3)) - 1)twist the left foot inward (Fig.310-311), 2)walk 5 steps forward starting with the left then do the left leg thrust (Fig.312-320), 3)make a quarter turn to the left (Fig.321-325), 4)walk 2 steps starting with the left (Fig.326-327), 5)make a small quarter turn to the left (Fig.328-332), 6)walk 3 steps starting with the right (Fig.333-335), 7)with the right foot over the left, move the hands up to the breast level; lower the hands while crossing the left foot over the right and at the same time twisting the body to the left (Fig.336-344), 8)turn to the right; move the hands to the front of the body with palms up then lower them to each side (Fig.345-351).

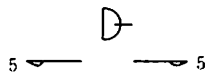
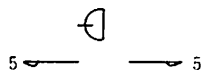
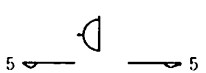
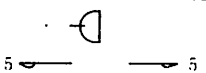
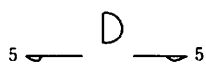
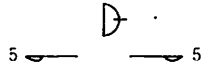
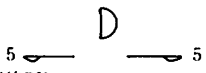
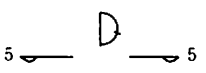




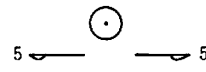
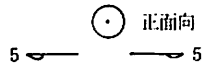
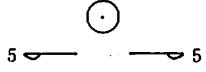
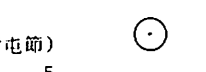

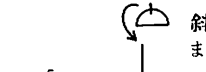
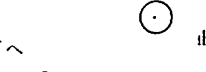



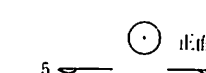

"Irifa"(exit) - 1)holding each hand at the side, slide walk towards the exit (Fig.352-360).

10 諸屯譜～① : Shudun Notation 記号・譜語による絵図<手踊り> (写真番号はレオタード写真絵図譜)

① (登場)

<p>1 (写真 11)</p>	<p>2 (写真 14)</p>	<p>3 (写真 15)</p>	<p>4 (写真 23)</p>
<p>5 (写真 27)</p>	<p>6 (写真 33)</p>	<p>7 (写真 38)</p>	<p>8 (写真 43)</p>

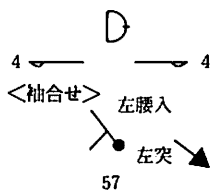
諸屯譜～②

 <p>5 5</p> <p>左ガマク入 左腰入 左突</p> <p>(3節) 9</p> <p>(写真 46, 49)</p>	 <p>5 5</p> <p>右ガマク入 右腰入 右突</p> <p>10</p> <p>(写真 53, 56)</p>	 <p>5 5</p> <p>左回 下手向</p> <p>11</p> <p>(写真 62)</p>	 <p>5 5</p> <p>す歩 下手へ</p> <p>12</p> <p>(写真 66)</p>
 <p>5 5</p> <p>左回 上手向</p> <p>13</p> <p>(写真 70)</p>	 <p>5 5</p> <p>女立</p> <p>14</p> <p>(写真 73)</p>	 <p>5 5</p> <p>(出羽踊終了) (仲間節) 後奏 始動</p> <p>15</p> <p>(写真 74)</p>	 <p>5 5</p> <p>す歩 舞台中央へ</p> <p>16</p> <p>(写真 76)</p>
 <p>5 5</p> <p>左回 中央後向</p> <p>17</p> <p>(写真 80)</p>	 <p>5 5</p> <p>後向</p> <p>す歩 b ↑ 舞台中央奥へ</p> <p>18</p> <p>(写真 85)</p>	 <p>5 5</p> <p>女立</p> <p>19</p> <p>(写真 89)</p>	 <p>5 5</p> <p>(中踊り) (諸屯節) (前奏) 始動</p> <p>20</p> <p>(写真 90)</p>
 <p>5 5</p> <p>左回 正面向</p> <p>21</p> <p>(写真 94)</p>	 <p>5 5</p> <p>正面向</p> <p>女立</p> <p>22</p> <p>(写真 96)</p>	 <p>5 5</p> <p>(立直り) 始動</p> <p>23</p> <p>(写真 97)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>20 ~ 22 (立直り)</p> </div> <p>24</p> <p>(写真 98 ~ 101)</p>
<p>(諸屯節)</p>  <p>5 5</p> <p>&lt;三角目付&gt; (1節) 女立</p> <p>25</p> <p>(写真 102)</p>	 <p>5 5</p> <p>右斜下 から上へ</p> <p>女立</p> <p>26</p> <p>(写真 102)</p>	 <p>5 5</p> <p>斜上 まわし下へ</p> <p>女立</p> <p>27</p> <p>(写真 103)</p>	 <p>5 5</p> <p>正面</p> <p>女立</p> <p>28</p> <p>(写真 106)</p>
 <p>5 5</p> <p>左斜上へ まわし</p> <p>女立</p> <p>29</p> <p>(写真 109)</p>	 <p>5 5</p> <p>正面</p> <p>女立</p> <p>30</p> <p>(写真 113)</p>	 <p>5 5</p> <p>右斜上へ まわし</p> <p>女立</p> <p>31</p> <p>(写真 117)</p>	 <p>5 5</p> <p>正面</p> <p>女立</p> <p>32</p> <p>(写真 121)</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">  <p>三角目付・記号</p> </div>			

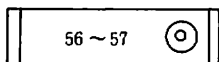
諸屯譜～③

<p>&lt;まくら手&gt; (2節) 3 3 2 5</p> <p>両手前 右交差 &lt;左まくら&gt; 女立</p> <p>33 (写真 122～125)</p>	<p>34 (写真 126～132)</p>	<p>35 (写真 133～143)</p>	<p>33～35 (反)</p> <p>&lt;右まくら&gt; 36 (図～34を参照のこと) (写真 144～156)</p>
<p>両手 こね下ろし</p> <p>2 2</p> <p>37 (写真 157～163)</p>	<p>(3節) 5 3</p> <p>左袖口持ち あごあて 左腰入</p> <p>38 (写真 170)</p>	<p>5 3</p> <p>左あごあてのまま</p> <p>す歩 q ↓ 前進</p> <p>39 (写真 179)</p>	<p>5 3</p> <p>左突 ↓ 前 ↓</p> <p>40 (写真 186)</p>
<p>5 3</p> <p>左回</p> <p>41 (写真 195)</p>	<p>5 5</p> <p>後向 右手下ろし</p> <p>す歩 b ↑ 前進</p> <p>42 (写真 198)</p>	<p>2 2</p> <p>右交差 右斜</p> <p>&lt;ユーザーレー&gt;</p> <p>43 (写真 201)</p>	<p>5 5</p> <p>正面ふ返る &lt;指くみ&gt;</p> <p>右交差 ↓ 正面向</p> <p>44 (写真 206)</p>
<p>5 5</p> <p>左回</p> <p>45 (写真 209)</p>	<p>5 5</p> <p>後向 後中央へ</p> <p>す歩 b ↑</p> <p>左交差 &lt;月見手&gt;</p> <p>46 (写真 215) (4節) (写真 218)</p>	<p>3 5</p> <p>左交差</p> <p>47 (写真 218)</p>	<p>5 3</p> <p>左交差 &lt;月見手&gt; 左手あげ</p> <p>48 (写真 223)</p>
<p>5 2</p> <p>左交差 &lt;月見手&gt;</p> <p>49 (写真 224)</p>	<p>5 2</p> <p>左膝立 坐位 前向 月見手</p> <p>50 (写真 231)</p>	<p>5 2</p> <p>左交差 &lt;月見手&gt; 立位 前方</p> <p>51 (写真 233)</p>	<p>5 2</p> <p>&lt;月見手&gt; 前方</p> <p>す歩 q ↓ 前方</p> <p>52 (写真 240)</p>
<p>5 2</p> <p>&lt;月見手&gt; 左突 ↓ 前方</p> <p>53 (写真 243)</p>	<p>5 2</p> <p>&lt;月見手&gt; 左回</p> <p>54 (写真 245)</p>	<p>5 5</p> <p>す歩 b ↑ 後向 前進</p> <p>55 (写真 252) (抽合せ)</p>	<p>4 4</p> <p>左回</p> <p>56 (写真 255)</p>

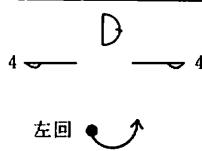
諸屯譜～④



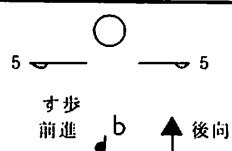
(写真 259～263)



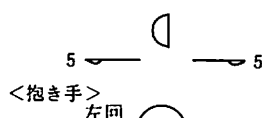
(写真 264～269)



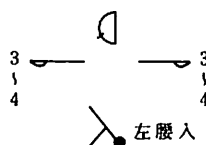
(写真 272)



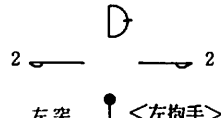
(写真 275～279)



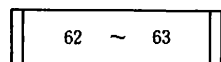
(6節)  
(写真 280)



(写真 284)

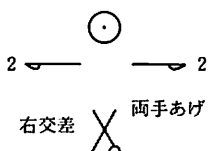


(写真 289)

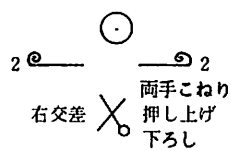


<右抱手>

(写真 290～300)



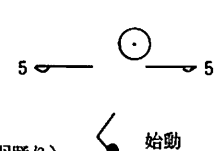
(写真 381)



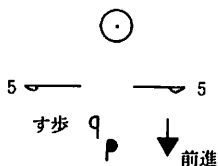
(写真 302～308)



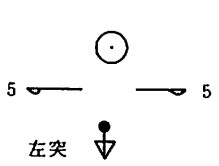
(写真 309)



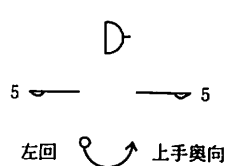
(1節) (写真 311)



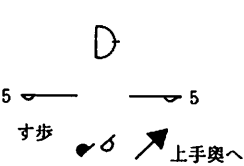
(写真 314)



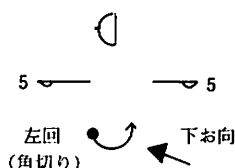
(写真 320)



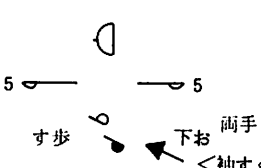
(写真 325)



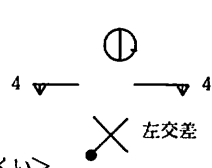
(写真 327)



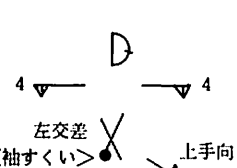
(写真 331)



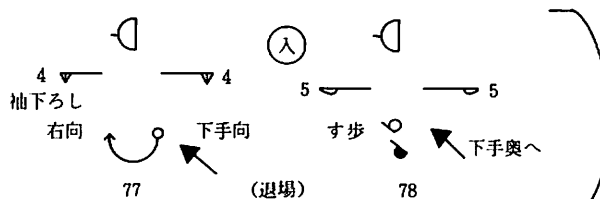
(写真 333)



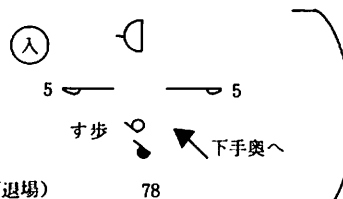
(写真 337～341)



(写真 344)

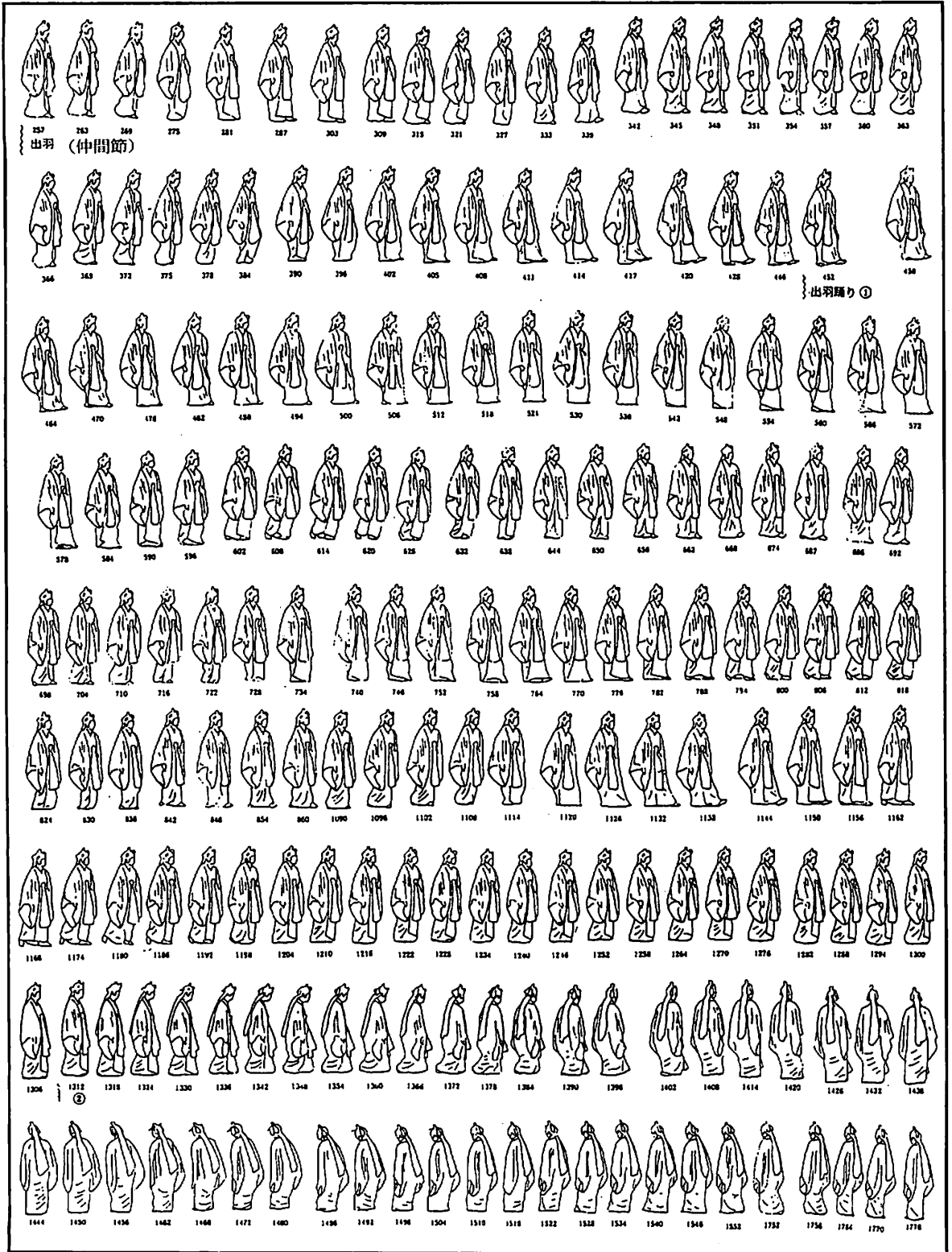


(写真 345～351)

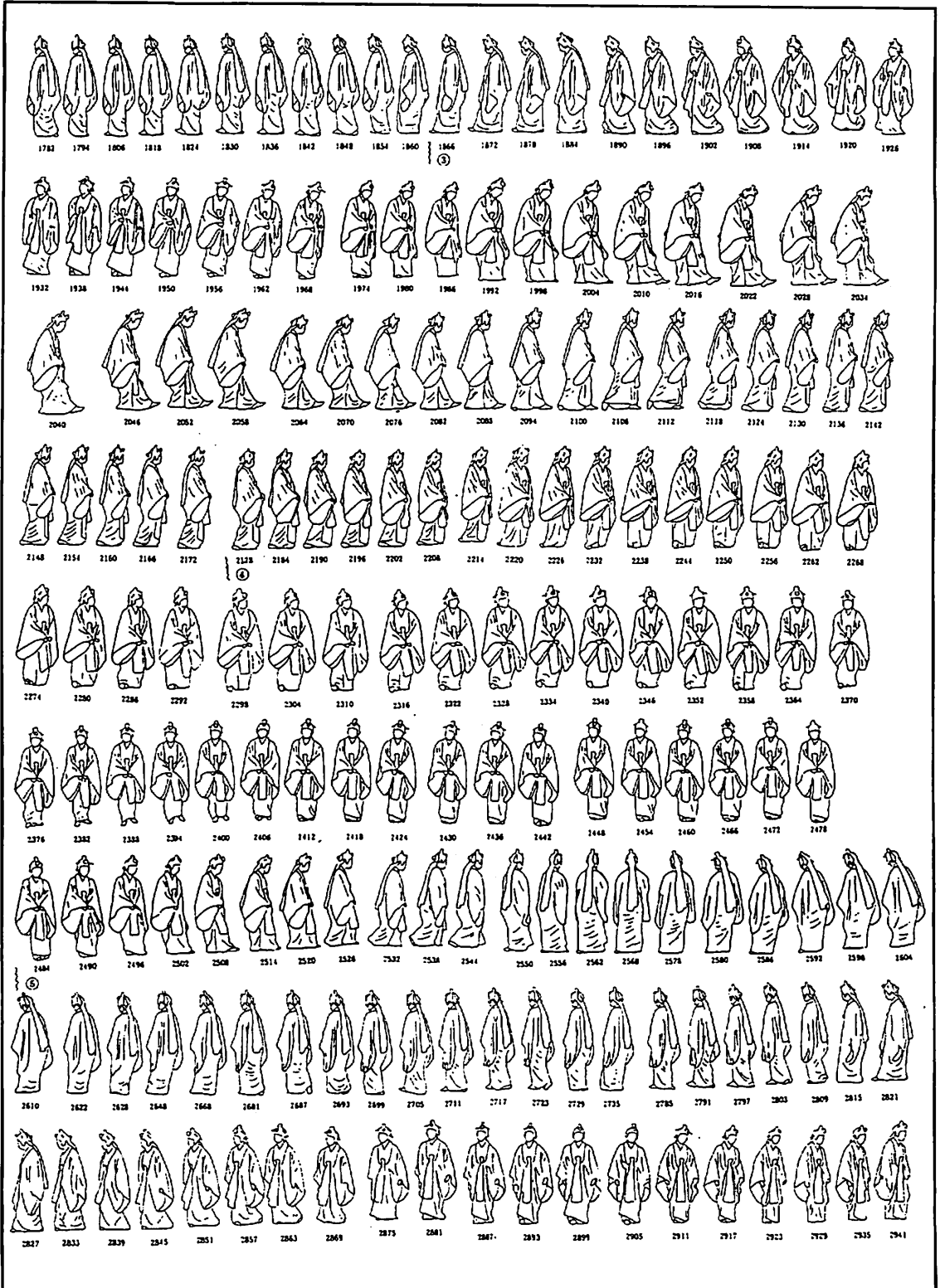


(退場) (後奏) (写真 352～360)

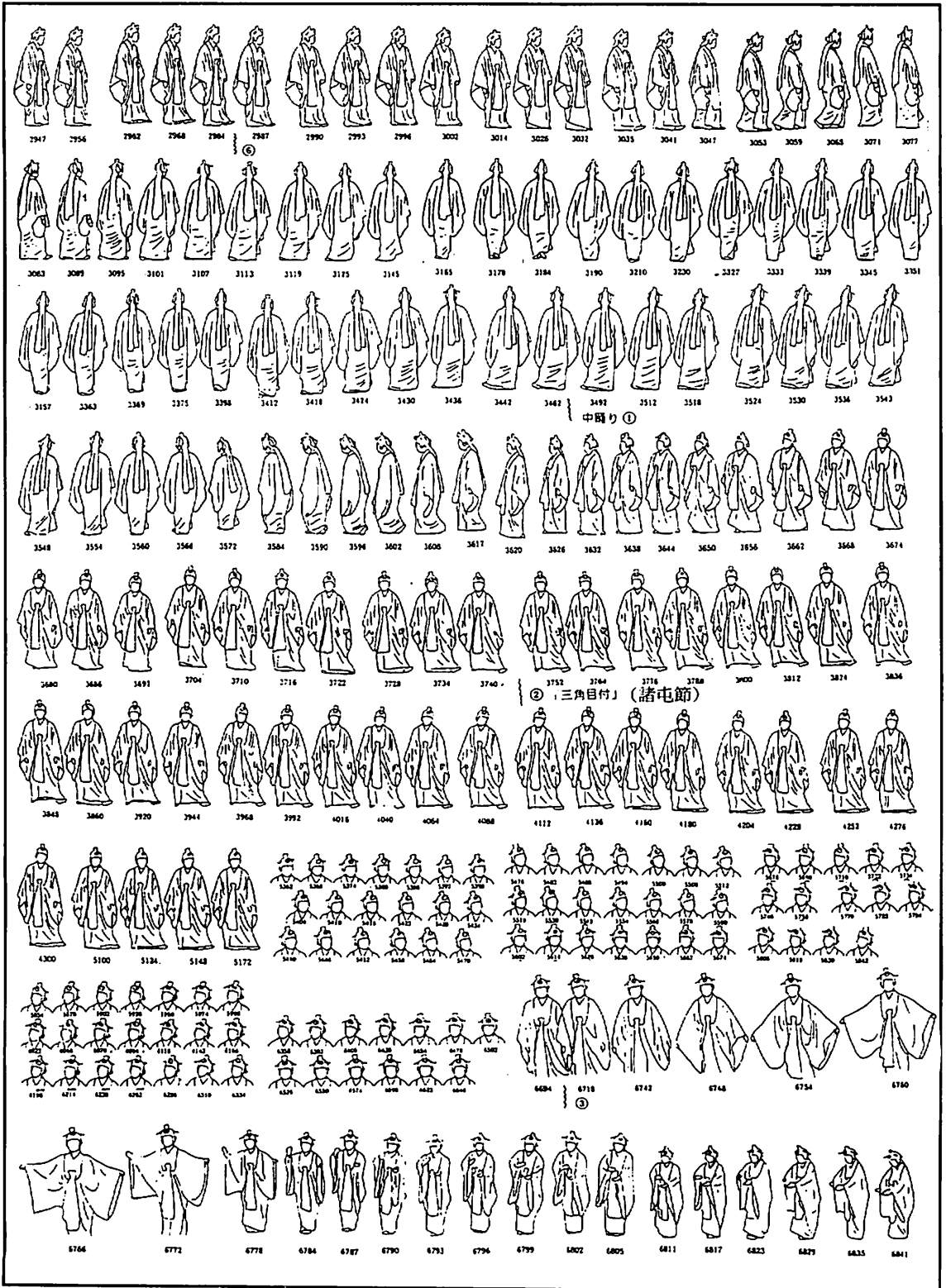
11 諸屯絵図譜～①



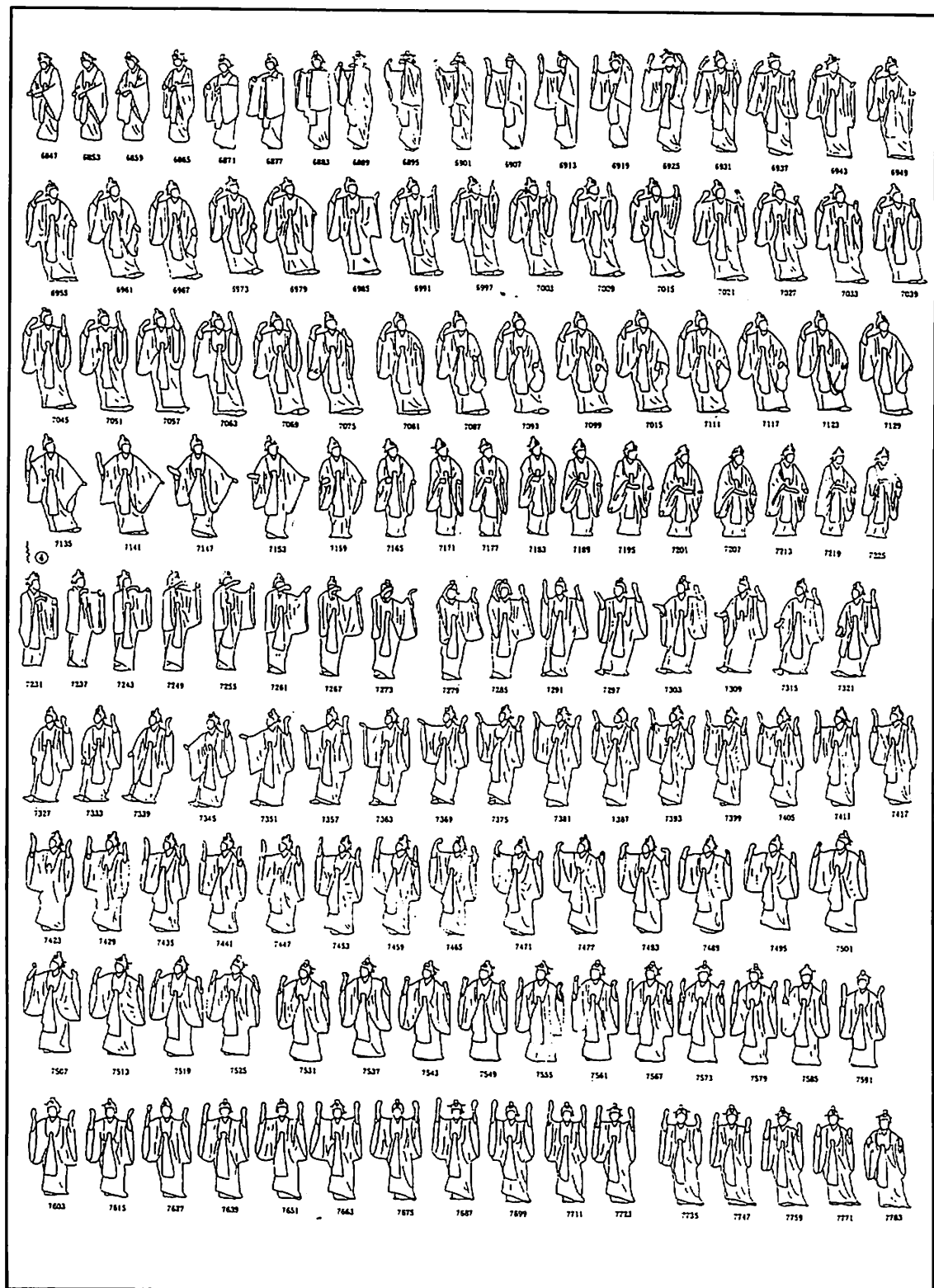
絵図譜～②



絵図譜〜③

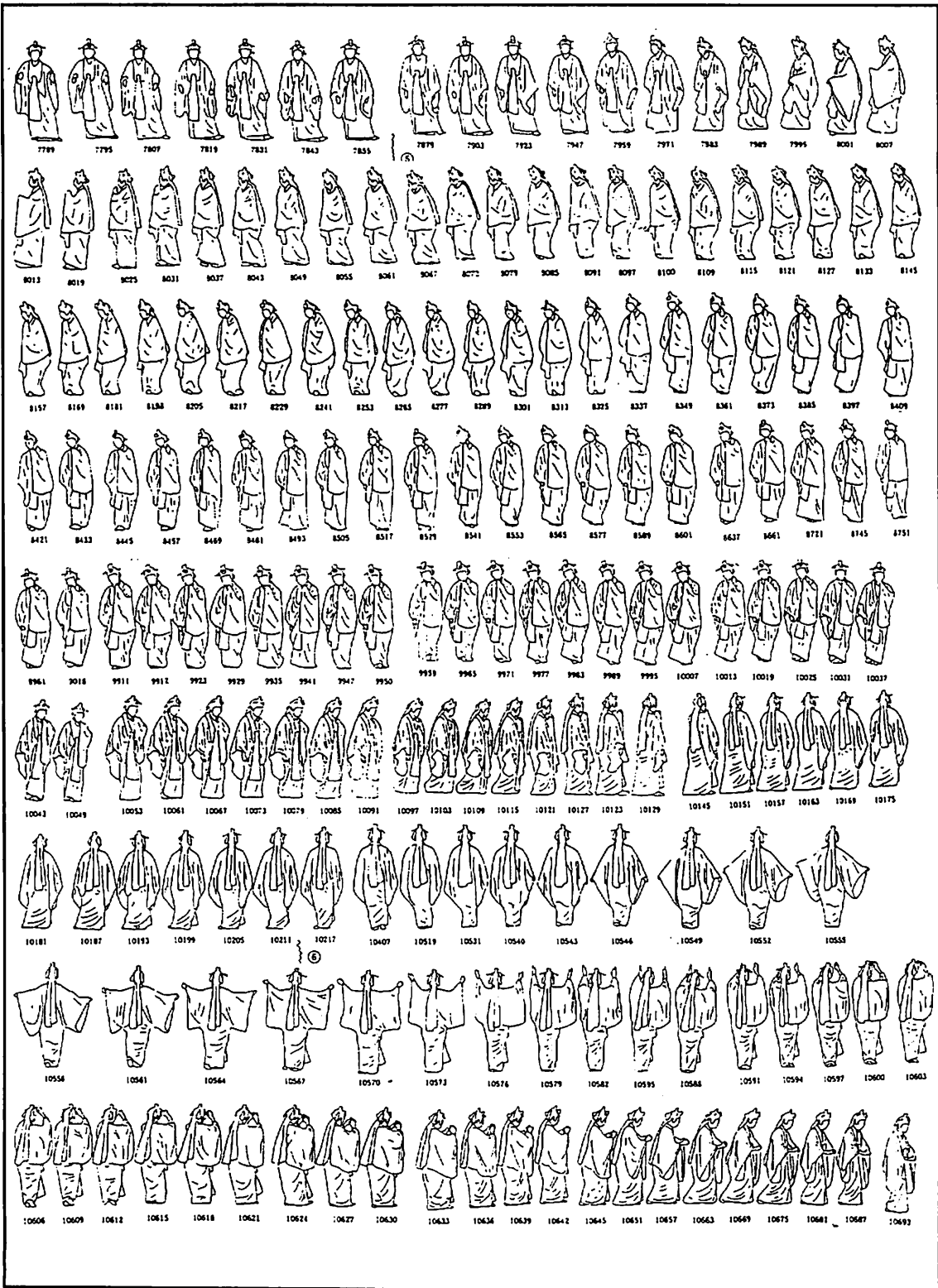


絵図譜～④

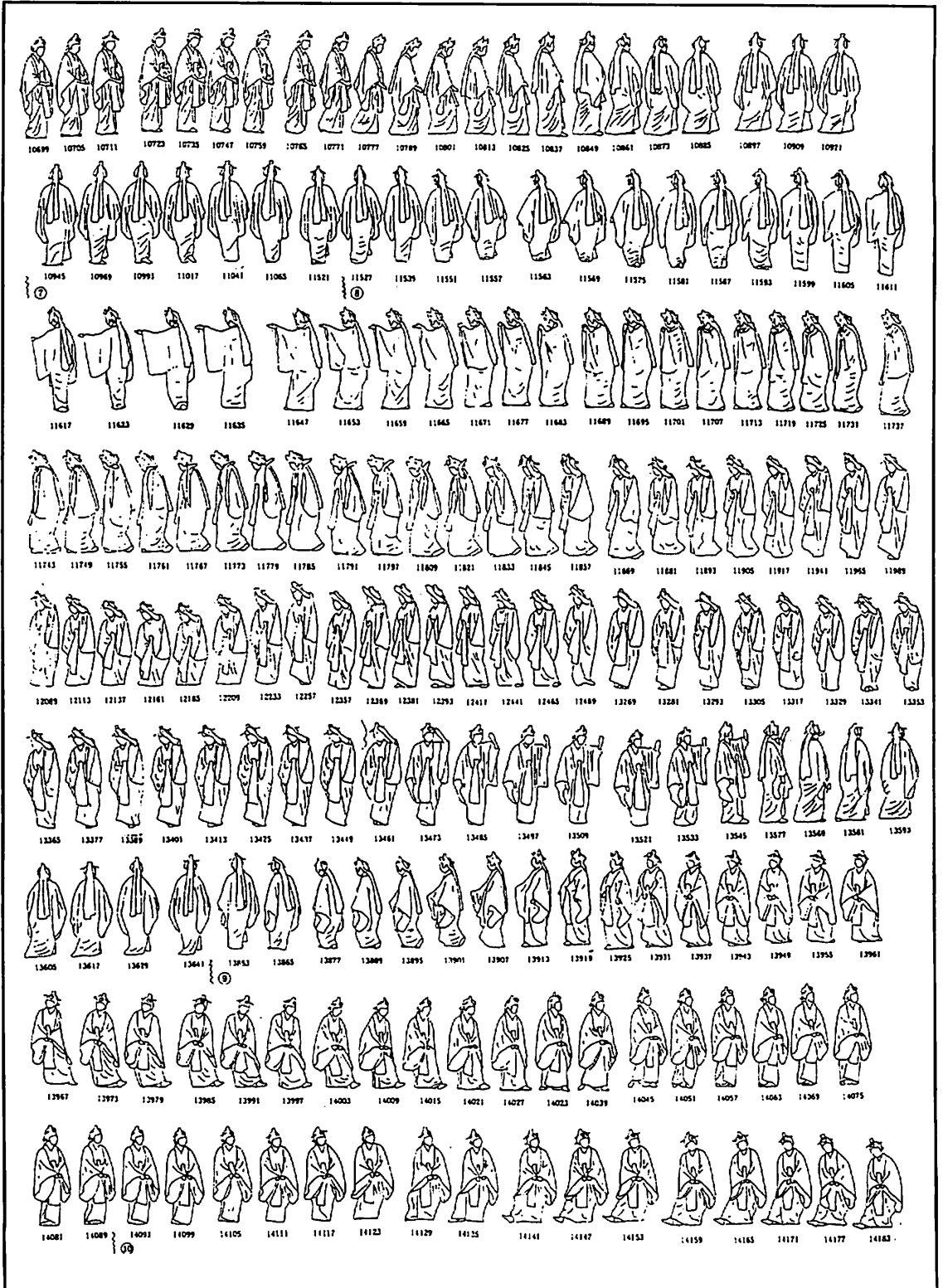




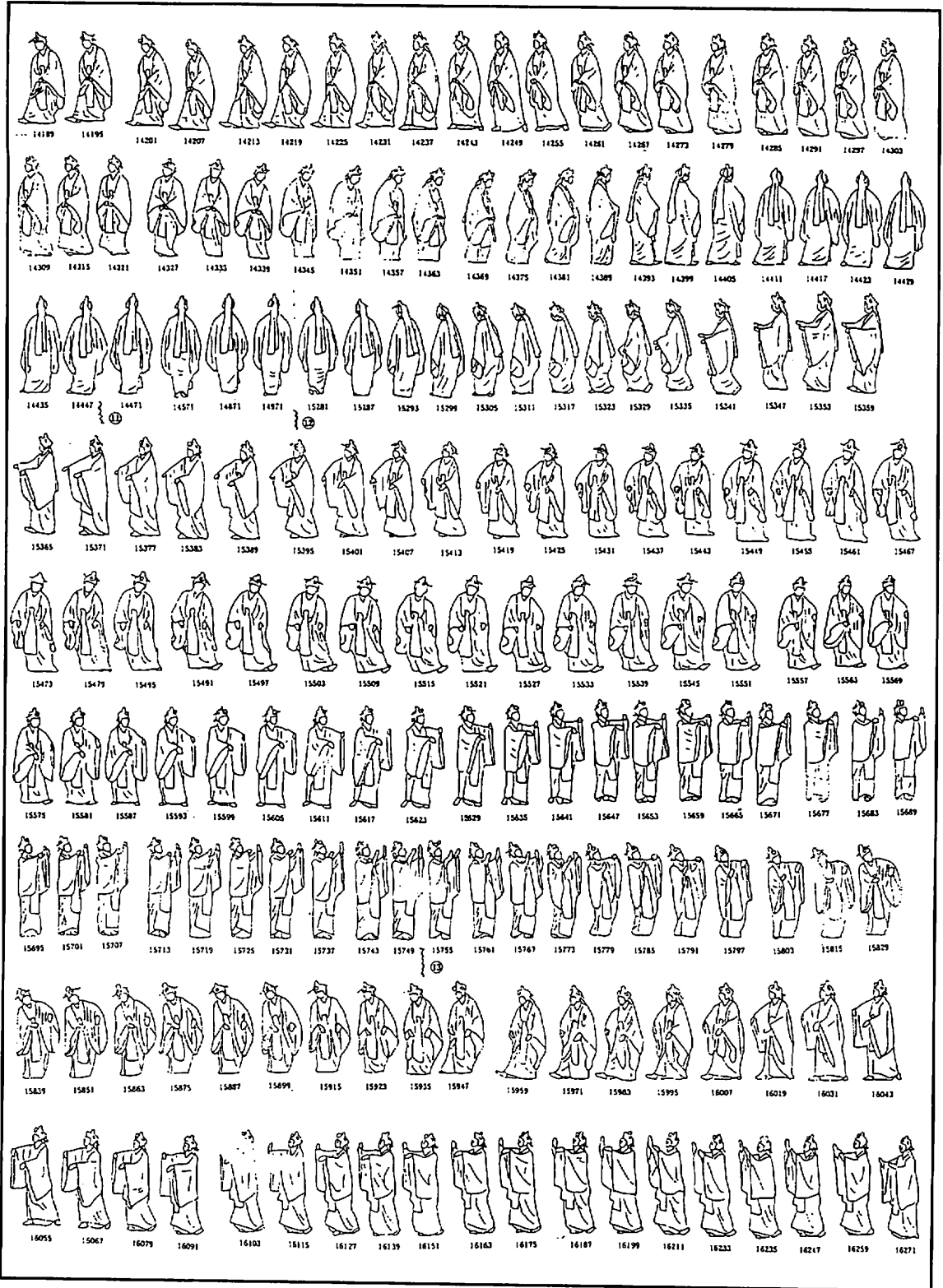
絵図譜⑤



絵図譜〜⑥



絵図譜~⑦



絵図譜〜㊸

16283 16289 16295 16301 16307 16313 16319 16325 16331 16337 16343 16346 16349 16352 16355 16358 16361

16364 16367 16370 16373 16376 16379 16382 16385 16391 16397 16403 16409 16415 16421 16427 16433 16443

16475 16481 16489 16511 16523 16547 16549 16551 16553 16559 16565 16571 16577 16583 16589 16614 16659 16671 16683 16695

入羽唄 ㊸

② (しよんがない節)

16707 16719 16725 16731 16737 16743 16749 16761 16773 16779 16783 16789 16796 16804 16810 16816 16843 16846 16849 16852 16858 16864 16870

16879 16891 16903 16915 16977 16951 17026 17032 17038 17044 17050 17056 17062 17065 17074 17080 17086 17098 17110 17134

③

17146 17158 17170 17182 17194 17206 17218 17230 17242 17254 17266 17278 17290 17302 17314 17326 17338 17350 17374 17398

17422 17446 17486 17510 17540 17564 17644 17668 17728 17752 17776 17800 17824 17848 17872

17896 17920 17944 17992 18022 18046 18070

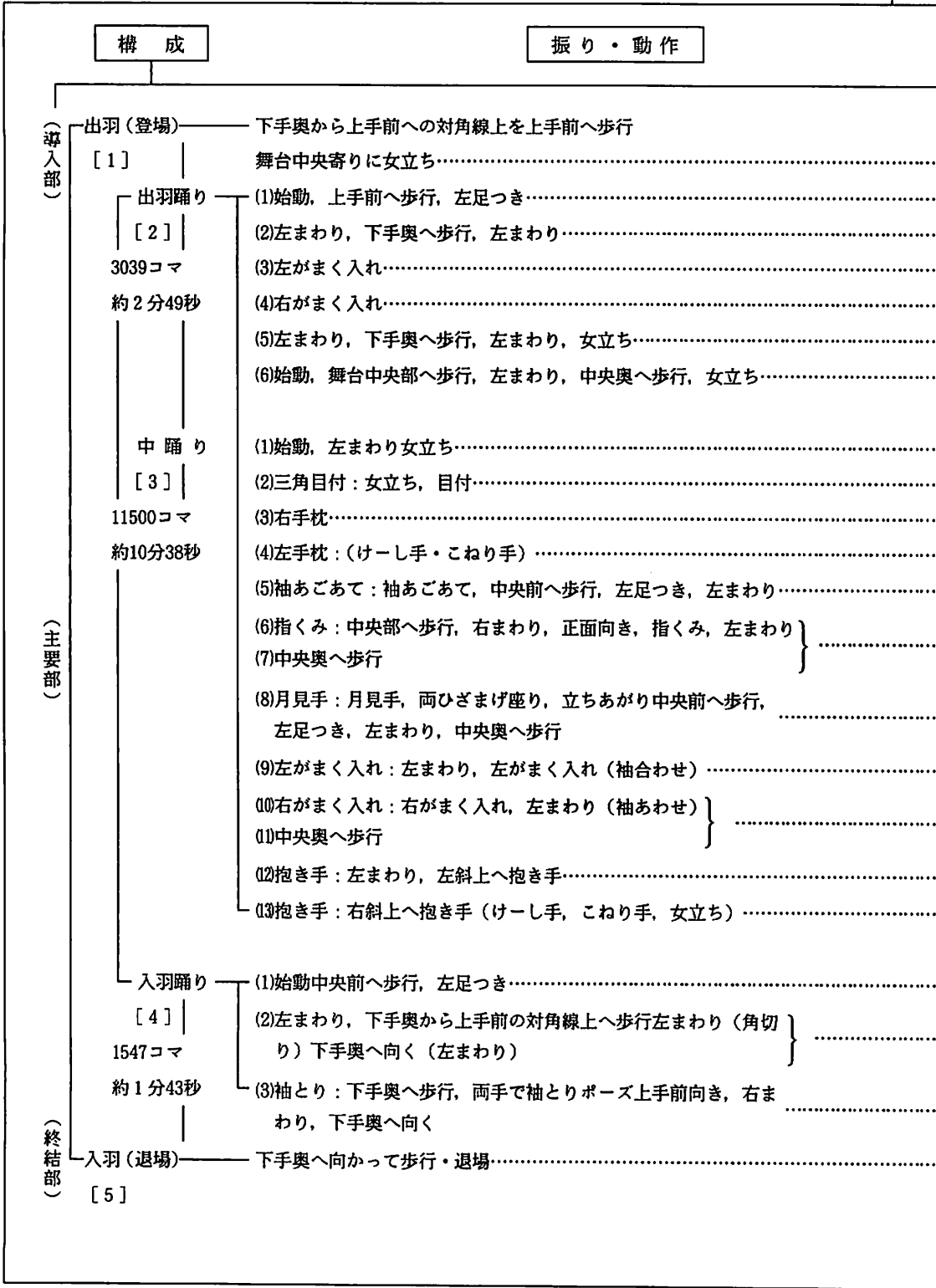
入羽 (18478) 最終コマ数

(踊り手：真境名住子)

註 総コマ数：16996。但しこの踊りの撮影は、「中踊り」の「三角目つき」の部分を1秒36コマで撮影した。したがって最終コマ数16756コマとなる。

12 諸屯舞踊の構造

諸屯舞踊の



全体構造

(その1)

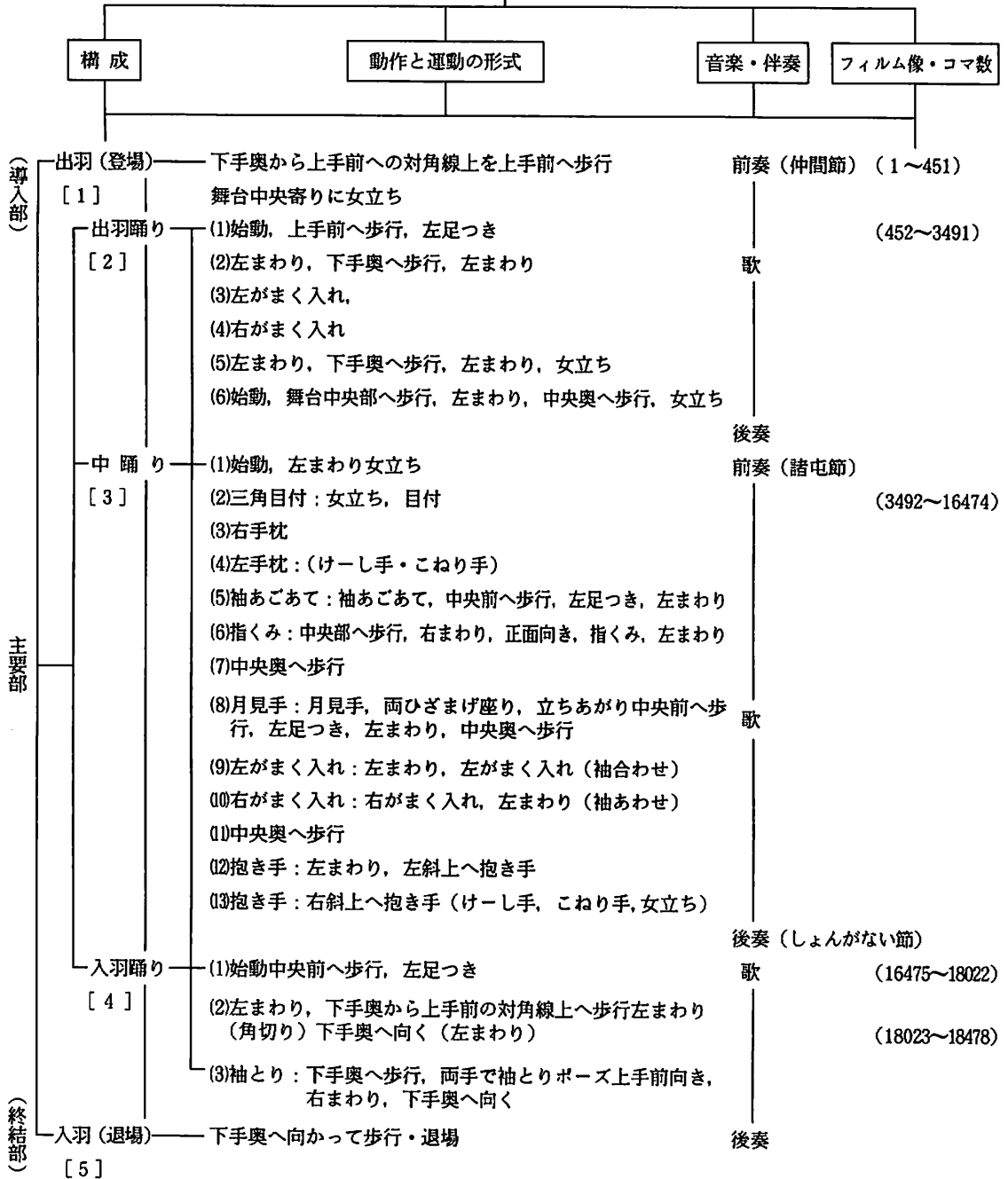
音楽・歌詞

時間・フィルムコマ数

…… <b>仲間節</b> の前奏……………	1 <sup>コマ</sup> 451 <sup>コマ</sup> ……………451 <sup>コマ</sup> ……………	25秒
…… 思事ぬあていん (ヨー) 間奏……………	(1) 452~ 1311……………859……………	約48秒
…… ゆすに語りりみ (間奏) ……………	(2) 1312~ 1865……………553……………	約31秒
…… 面影と (間奏) ……………	(3) 1866~ 2177……………311……………	17秒
…… 連りてい忍で (間奏) ……………	(4) 2178~ 2483……………305……………	約17秒
…… 拝ま (ヨーンナー)(間奏) ……………	(5) 2484~ 2992……………508……………	約28秒
…… <b>仲間節</b> の後奏……………	(6) 2993~ 3491……………498……………	約28秒
…… <b>諸屯節</b> の前奏……………	(1) 3492~ 3751……………259……………	14秒
{ まく (間奏) (ア~) ら (間奏) }	(2) 3752~ 6717……………(2965~1482) ……………	1分37秒
…… びた (間奏) ……………	(3) 6718~ 7134……………416……………	23秒
…… (ア~) る (間奏) ……………	(4) 7135~ 7878……………743……………	41秒
{ ゆみぬ (間奏) ちい (間奏) り (間奏) }	(5) 7879~10216……………2337……………	2分16秒
…… ゆ (サトヌシヨー) (間奏) ……………	{ (6) 10217~10944……………727……………	40秒
	{ (7) 10945~11526……………581……………	32秒
{ ちちや (間奏) いら (間奏) さが (間奏) }	(8) 11527~13852……………2325……………	2分15秒
{ (ア~) (間奏) }		
…… てい恋し・「冬ぬ」 (間奏) ……………	(9) 13853~14097……………244……………	約14秒
…… やふあ (間奏) ん (ア~) (間奏) ……………	{ (10) 14098~14470……………372……………	約21秒
	{ (11) 14471~15280……………809……………	約45秒
…… (リ、サー)(間奏) ……………	(12) 15281~15754……………473……………	26秒
…… (トヌシヨー) ……………	(13) 15755~16474……………719……………	約40秒
…… 別て面影ぬ (間奏) ……………	(1) 16475~16658……………183……………	10秒
…… 立たはとじみじょり (間奏) ……………	(2) 16659~16926……………267……………	約15秒
{ なりし匂い袖に (間奏) }	(3) 16927~18022……………1095……………	1分01秒
{ 移ちあむぬ (ヨーンナーサーサー) }		
{ (シヨングネーヌーリーシヨングネー) }	……………18023~18478……………455……………	25秒
{ <b>しょうがない節</b> の後奏 }		

[総コマ数……………16996コマ……………約14分55秒]

諸屯の全体構造 (その2)



13 「諸屯」の踊り図(1)



抱き手

あごあて

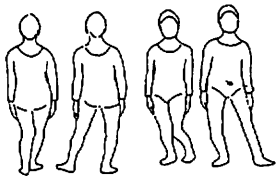
指組み

三角目付

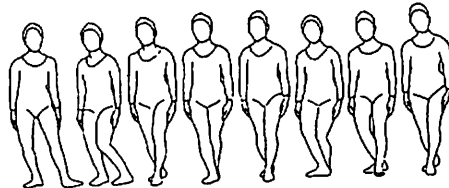


月見手

枕手



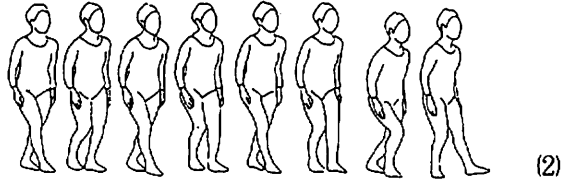
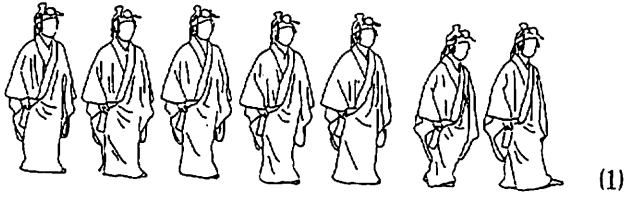
「女立ち」



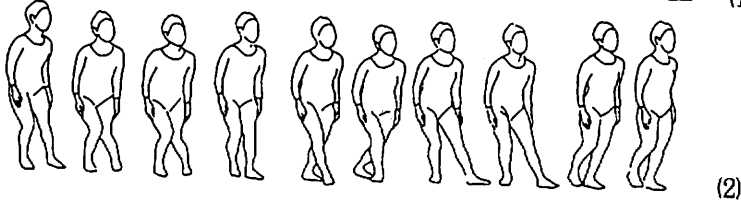
女立ち～始動～前進～左足突き



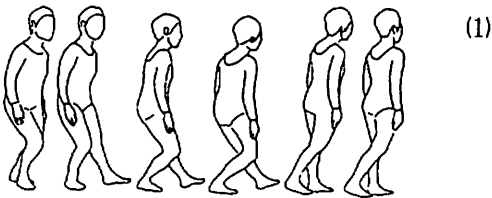
「諸屯」の踊り図 (2)



出羽（登場）と女立ち

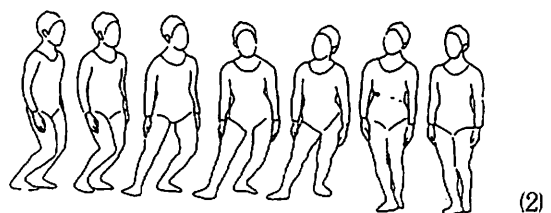


始動～半身前進～左足突き



“左ガマク入り左足突”

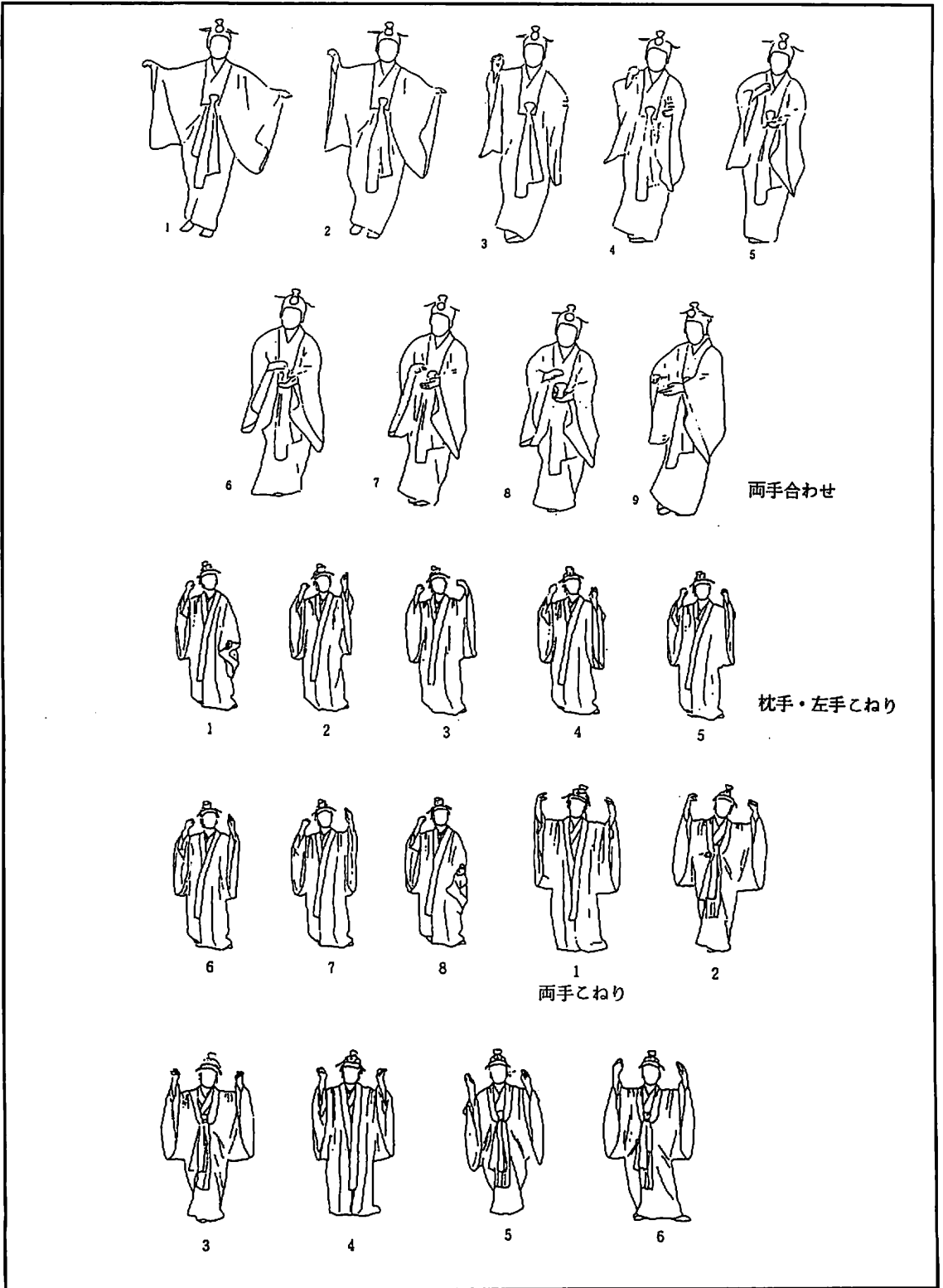
(2)



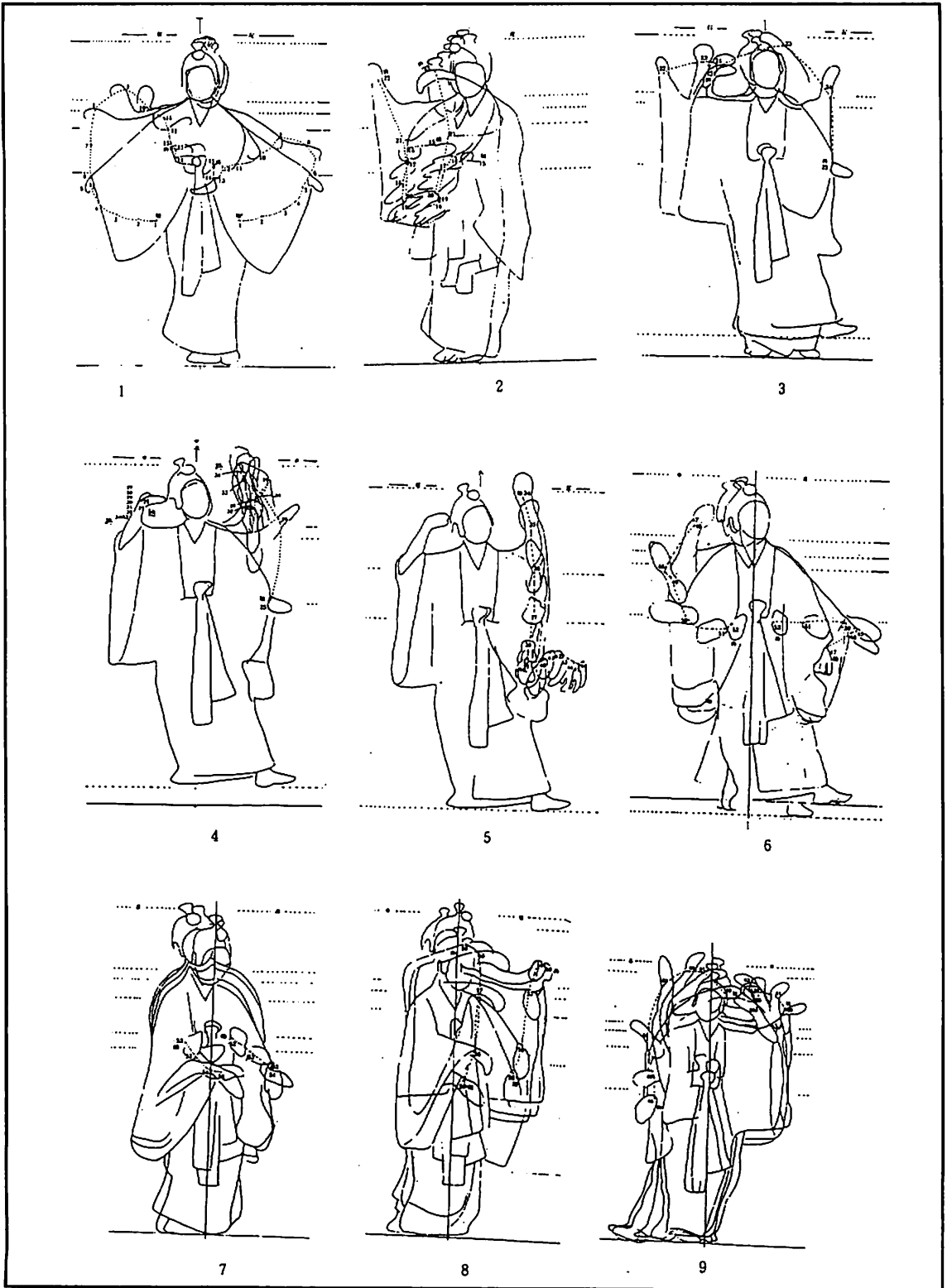
“右ガマク入り右足突”

(2)

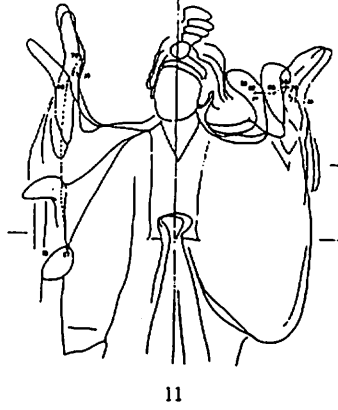
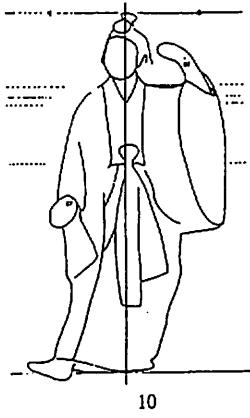
「諸屯」の踊り図 (3) まくら手の分析図



「諸屯」の踊り図 (4) まくら手の分析・重ね絵図



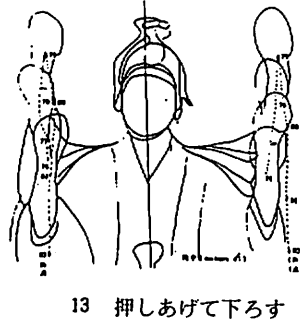
「諸屯」の踊り図 (5)



12 けし手・こねり手(1)



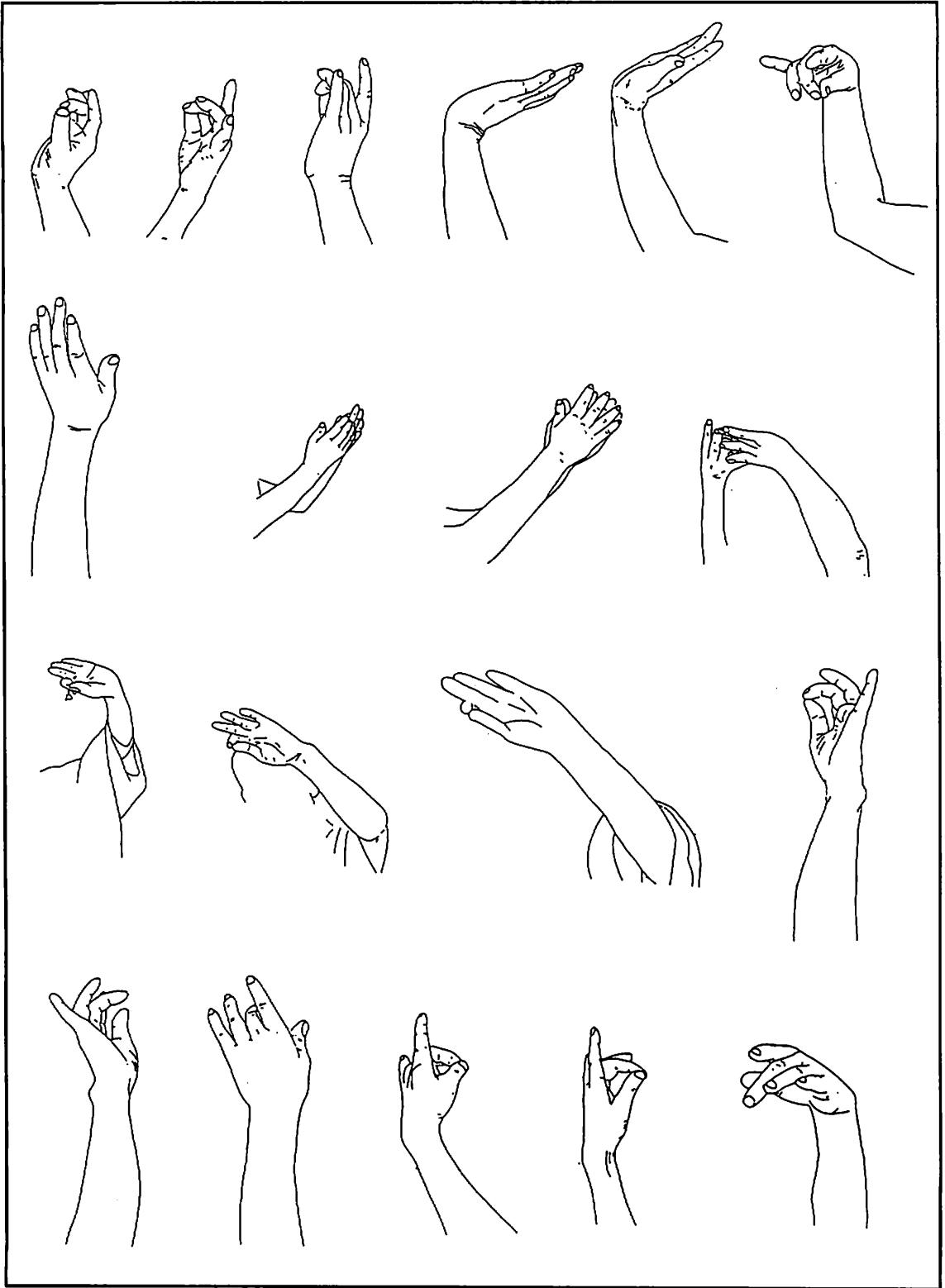
14 「諸屯」の踊りの形：目付



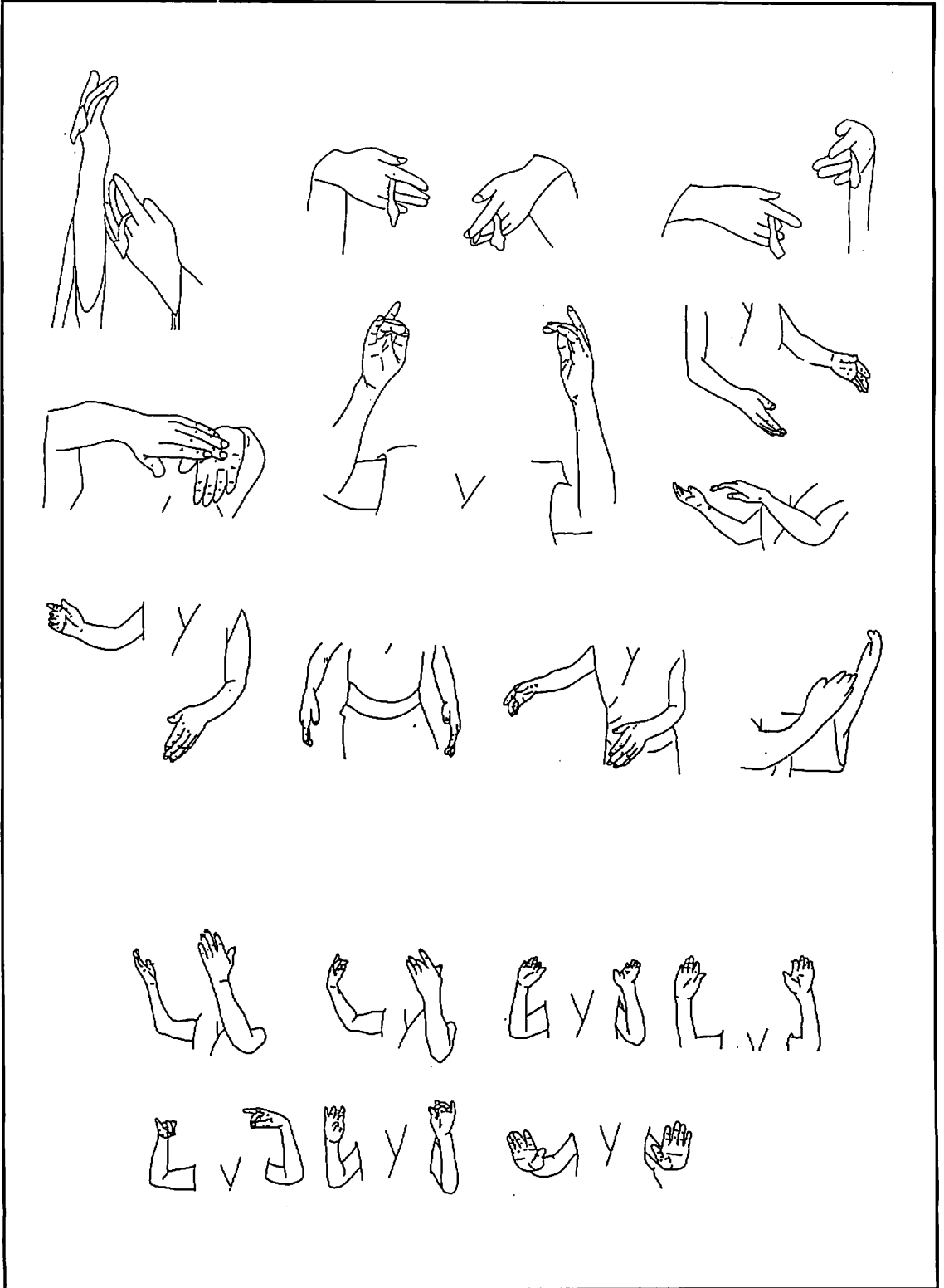
諸屯舞踊の動作



「諸屯」の踊り図 (6) 手の形 ①



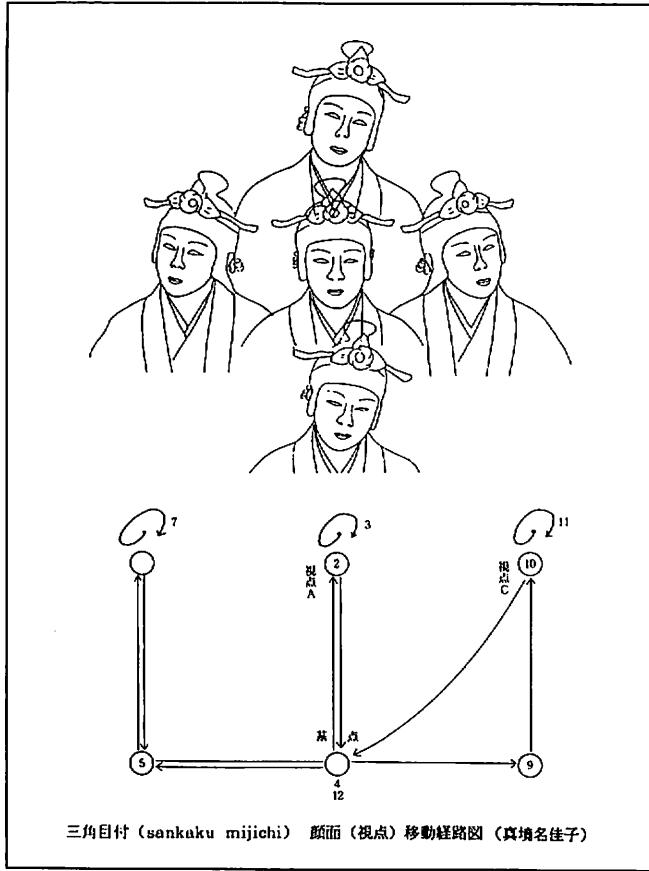
(6) 手の形 ②



「諸屯」の踊り図

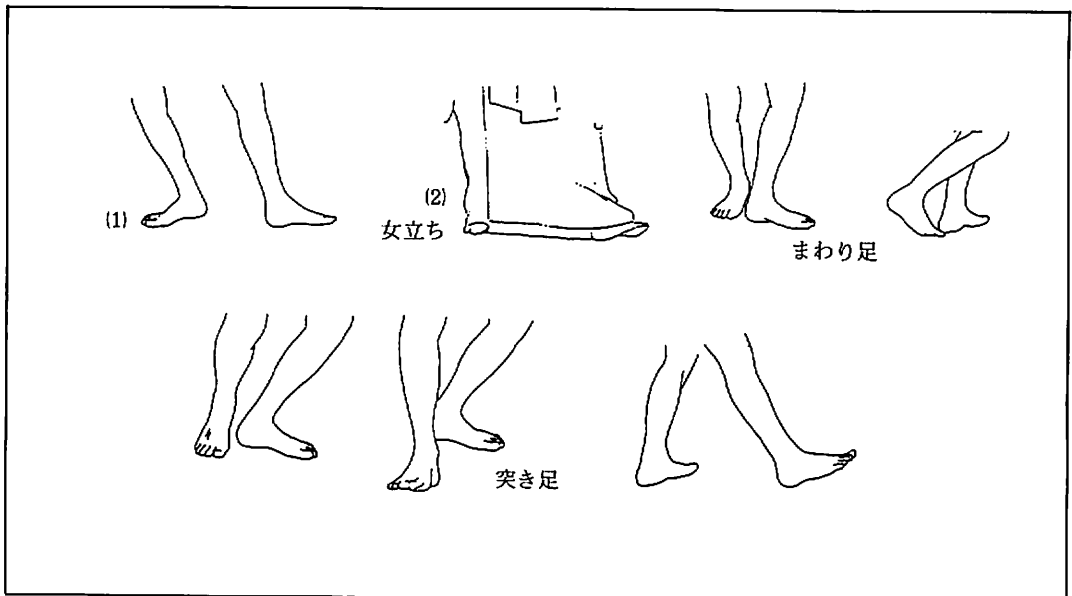
(7)~①

三角目付 ①

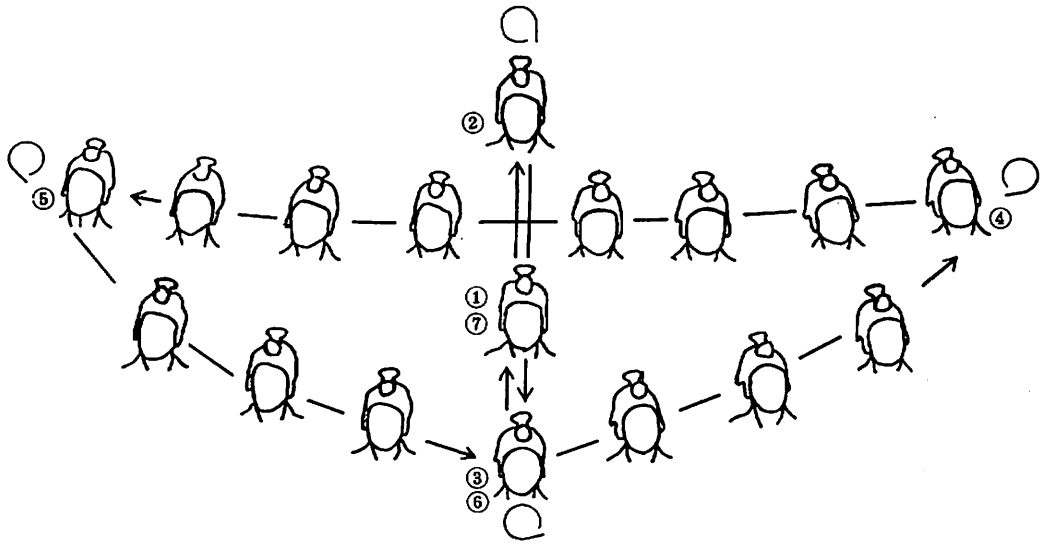


「諸屯」の踊り図 (8)

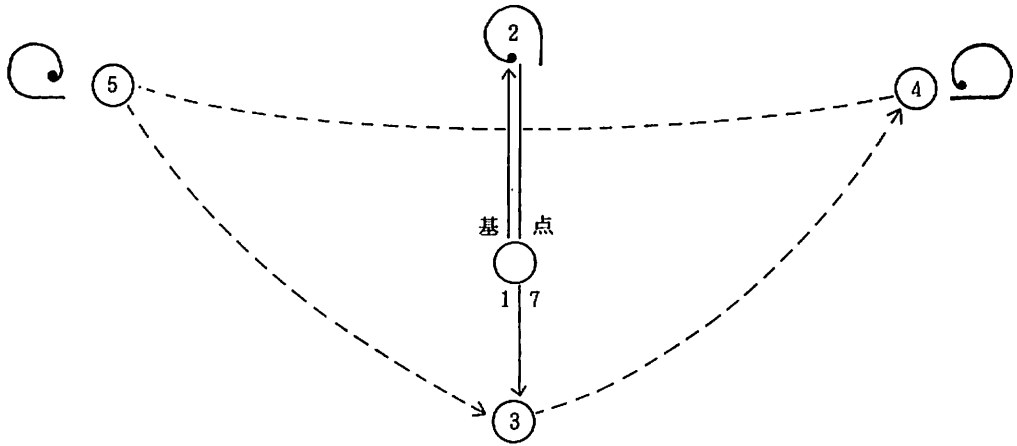
女踊り足の形



「諸屯」の踊り図 (7)~② 三角目付



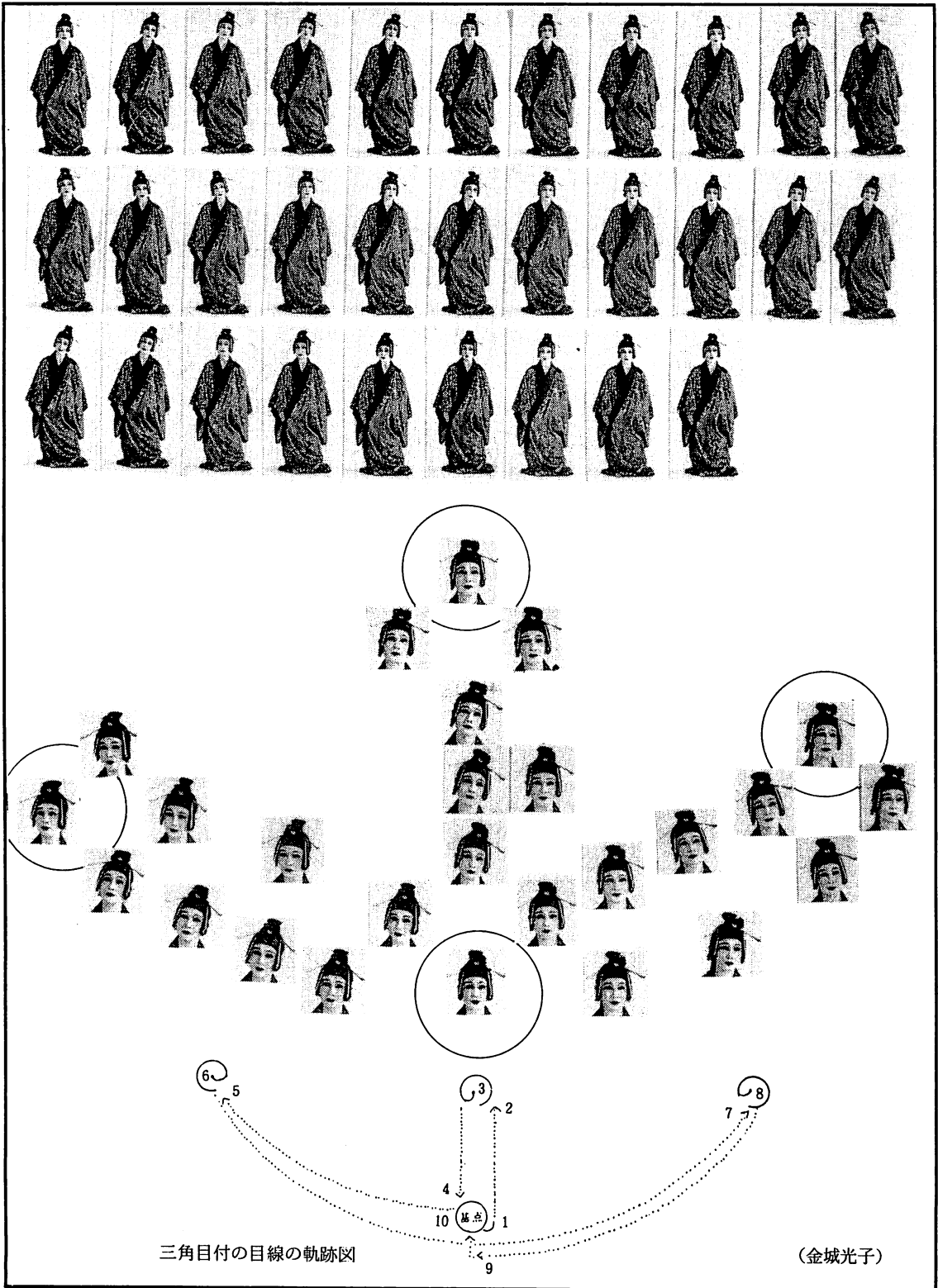
三角目付 顔面(視点)移動略図(島袋光裕)



三角目付 (sankaku mijichi) 顔面(視点)移動経路図  
(みる側からの目付)



「諸屯」の踊り図 (7)~③ 三角目付



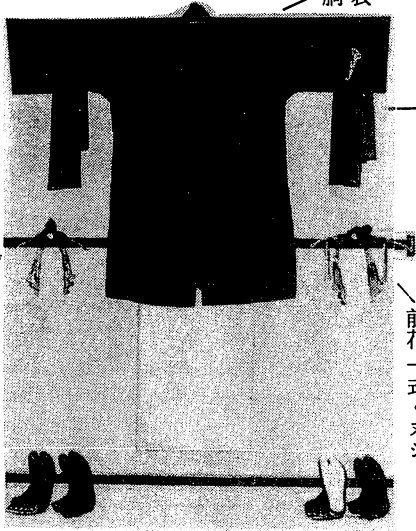
14 諸屯舞踊「装束・扮装」



(打掛着付)



胴衣 (中帯紅型着付)



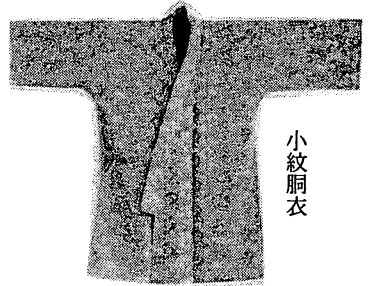
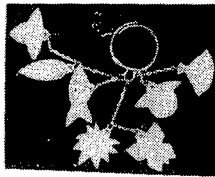
むらさきサージ2本

前花一式・ヌシ

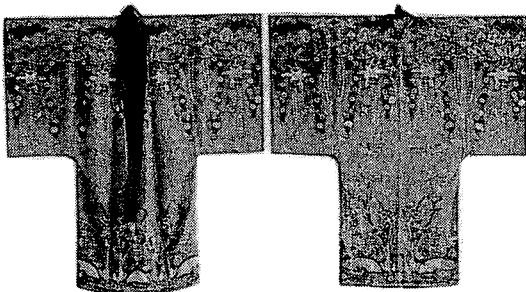
前花一式・ヌシ

(赤裏) 赤足袋 (白裏)

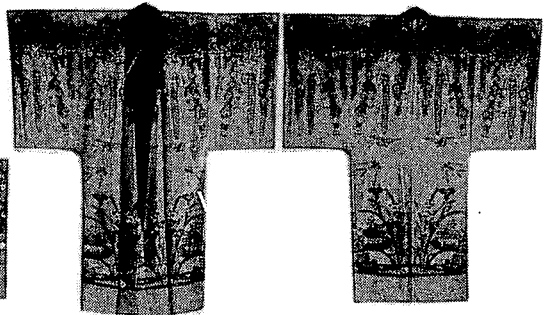
房ゆびわ



小紋胴衣

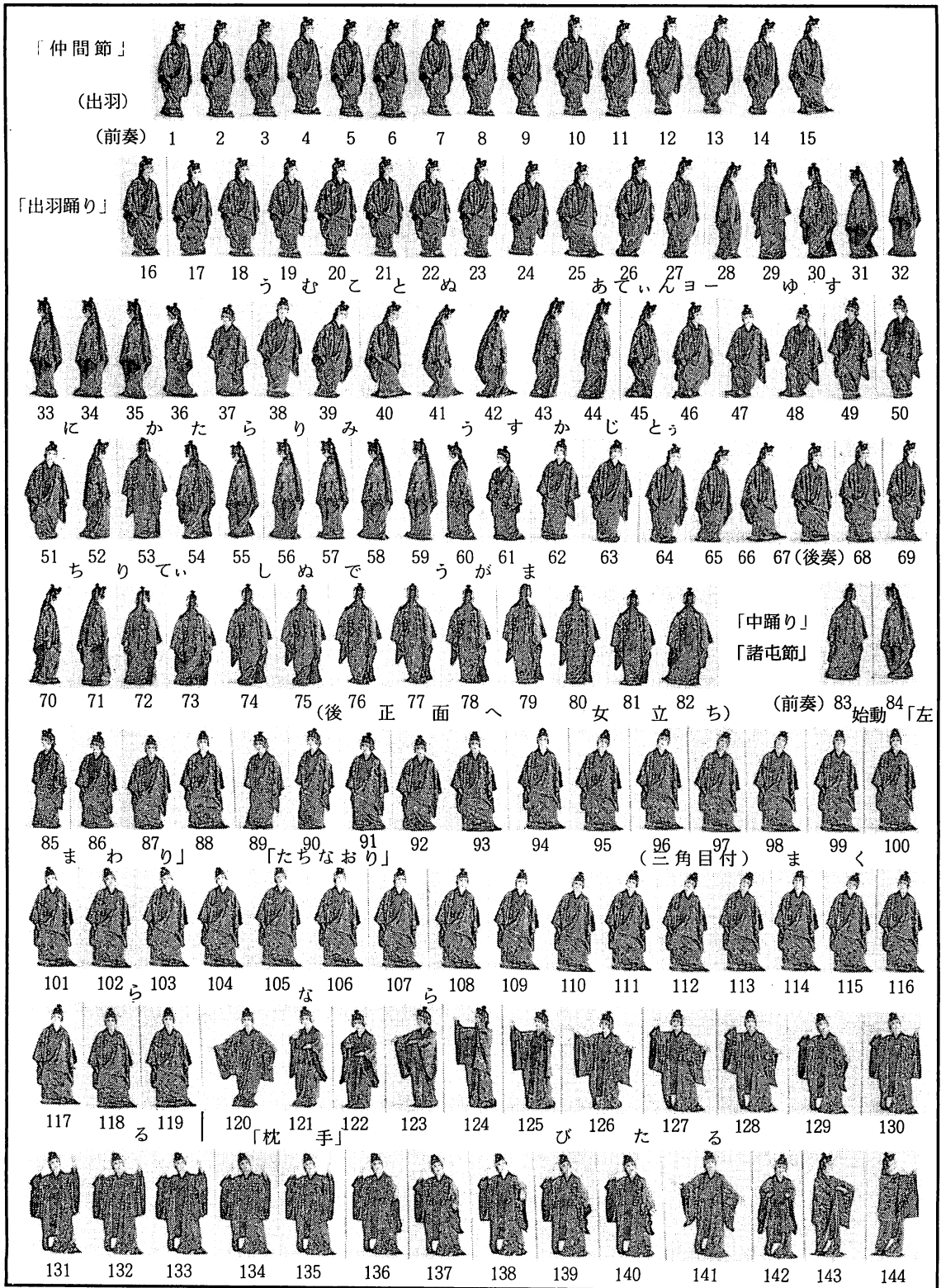


青地紅型

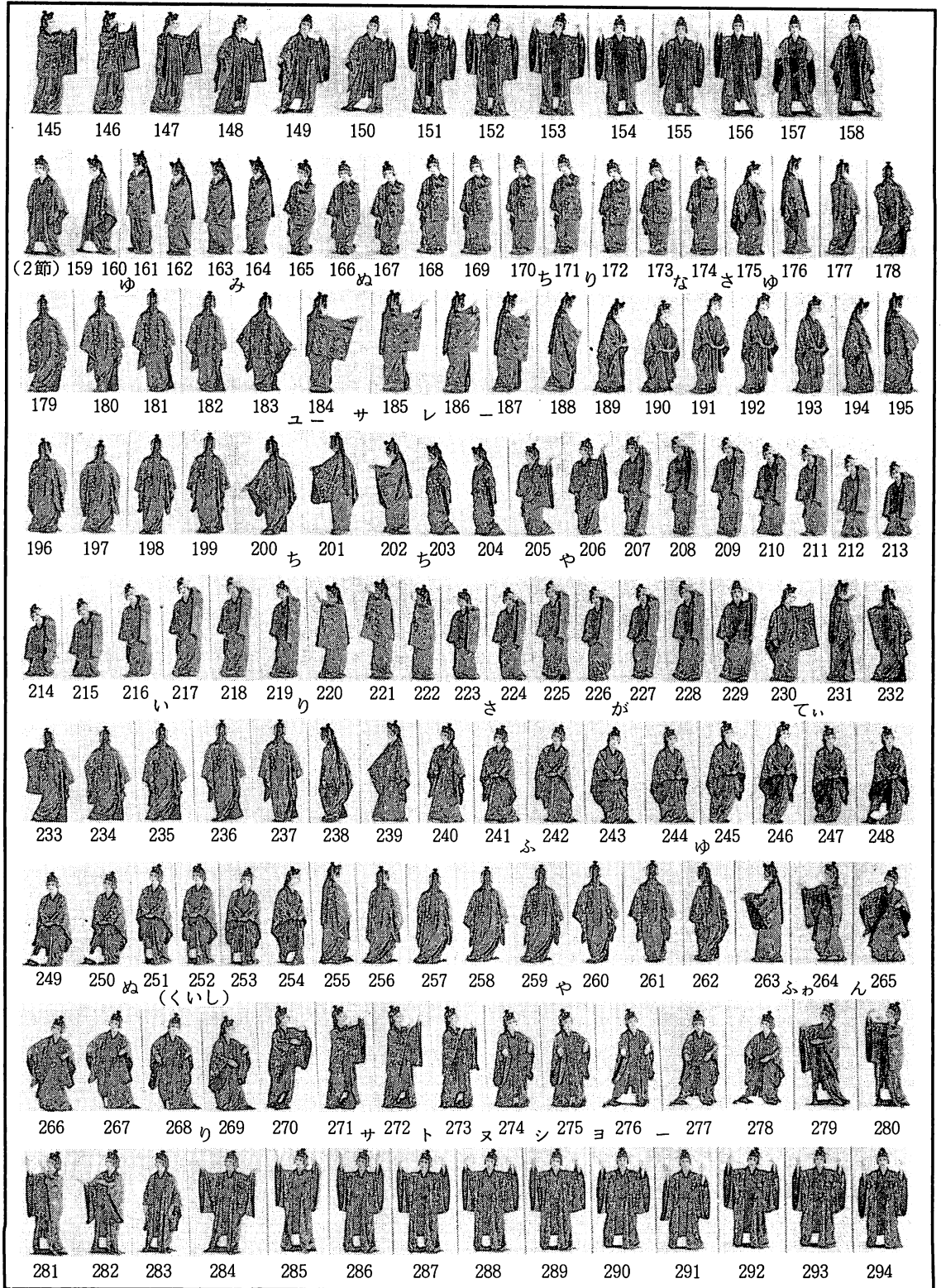


灰色地紅型

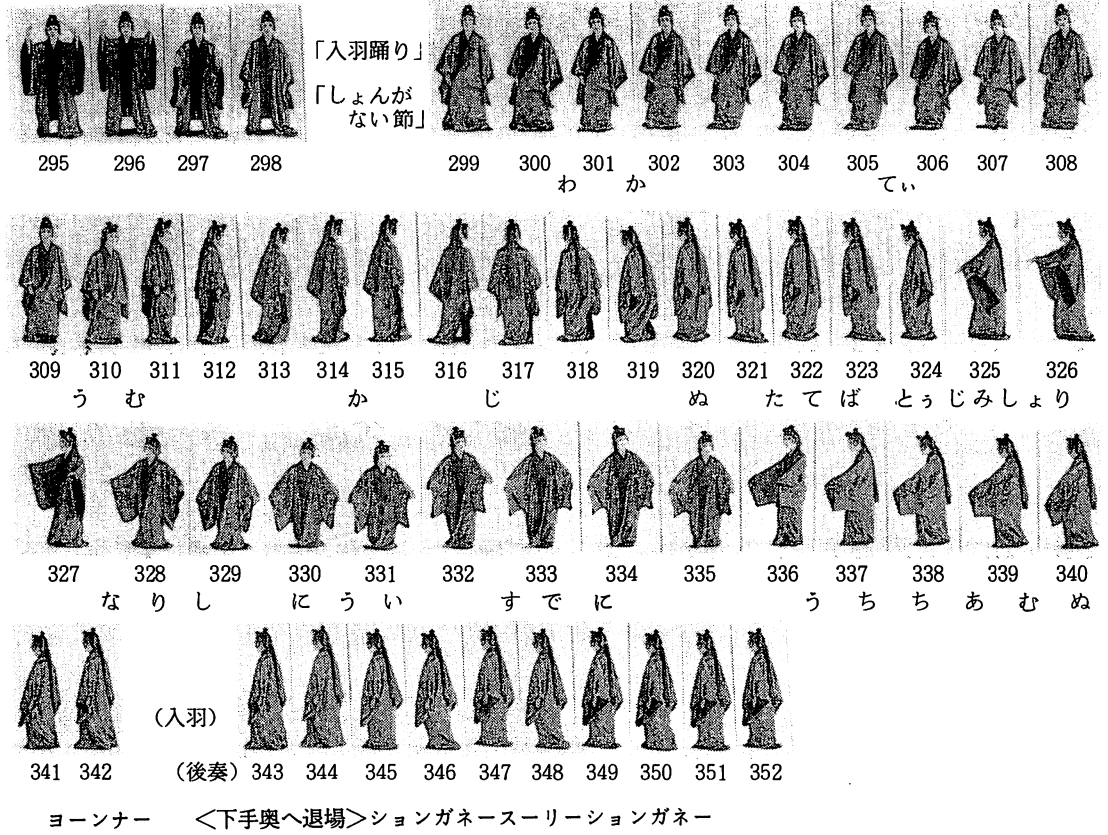
15 諸屯舞踊 写真絵図譜～①



諸屯舞踊 写真絵図譜～②



諸屯舞踊 写真絵図譜〜③





16 諸屯舞踊 レオタード写真絵図譜〜①

「仲間節」 (出羽) (前奏) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 「出羽踊り」 (1節) 15 16 17 18 19

20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45

46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69

70 71 72 73 (後奏) 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 「中踊り」 「諸屯節」 (前奏)

90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109

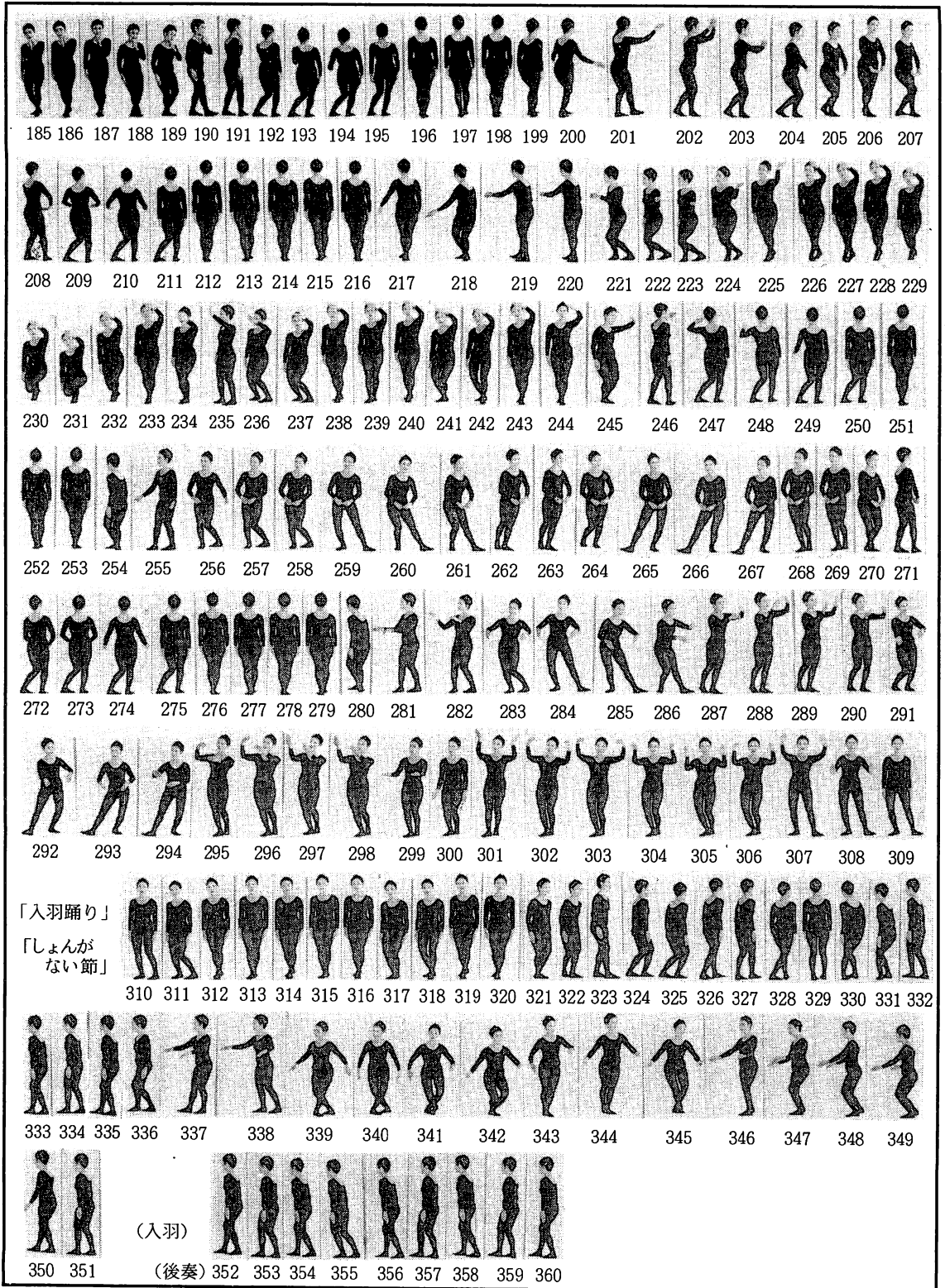
110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127

128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143

144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160

161 162 163 164<sup>(2節)</sup> 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184

諸屯舞踊 レオタード写真絵図譜〜②













18. 諸屯舞踊曲の西洋符

(1) 仲間節

野村流古典音楽保存会工工四声楽譜より紙訳採譜

伊志嶺朝次採譜

ウ ム ク ト ス ア

The first system of musical notation for '仲間節'. It consists of a vocal line in treble clef and a piano accompaniment in bass clef. The vocal line has lyrics 'ウ ム ク ト ス ア' under the notes. The piano accompaniment provides a steady rhythmic accompaniment.

テ ン ヲウ

The second system of musical notation. The vocal line has lyrics 'テ ン ヲウ'. The piano accompaniment continues with a consistent rhythm.

ユ ス ニ カ タ ラ

The third system of musical notation. The vocal line has lyrics 'ユ ス ニ カ タ ラ'. The piano accompaniment continues.

リ ミ ウム カ チ ト

The fourth system of musical notation. The vocal line has lyrics 'リ ミ ウム カ チ ト'. The piano accompaniment continues.

This system shows the piano accompaniment for the fifth system of the piece. The vocal line is not present in this system.

テ シ ス デ ウ

The sixth system of musical notation. The vocal line has lyrics 'テ シ ス デ ウ'. The piano accompaniment concludes the piece.

ガ マ ヤウ シ ナ

(2) 諸 屯 節

野村流古典音楽保存会工工四声楽譜より 紙訳採譜 伊志嶺朝次採譜

マ ク

ラ ナ

ラ ビ

金城：琉球舞踊譜(8)

タ

ル

ユ

ミ

ツイ

リ

ナ

ユ

サ

ユ ス シ ヨウ  
ツィ チ ヤ  
イ  
リ サ  
ガ テ

金城：琉球舞踊譜(8)

The musical score is presented in five systems, each consisting of a treble and bass staff. The notation includes various rhythmic patterns and melodic lines. Japanese characters are placed below the notes to indicate specific rhythmic or melodic motifs.

System 1: Treble staff has notes with characters 'フ', 'ユ', and 'ス' below. Bass staff has notes.

System 2: Treble staff has notes with character 'ヤ' below. Bass staff has notes.

System 3: Treble staff has notes with characters 'フ', 'ソ', and 'ア' below. Bass staff has notes.

System 4: Treble staff has notes with characters 'リ', 'サ', 'ス', and 'シ' below. Bass staff has notes.

System 5: Treble staff has notes with character 'ヨウ' below. Bass staff has notes.



(3) しゃうんがない節

野村流古典音楽保存会工工四声楽譜より転記採譜

伊志嶺朝次採譜

ワ カ テ ウ ム カ チ ス タ

The first line of music consists of two staves. The upper staff is in treble clef with a key signature of one flat (B-flat) and a 4/4 time signature. The lower staff is in bass clef. The melody is written in a traditional style with some grace notes. The lyrics are written below the notes.

タ バ トウ ジ ミ ショウ リ ナ

The second line of music continues the melody and accompaniment. The lyrics are written below the notes.

リ シ ニ ホヒ ス デ ニ ウ

The third line of music continues the melody and accompaniment. The lyrics are written below the notes.

ツイ チ ア ム ス ヨウ シン ナ サ サ ショウ

The fourth line of music continues the melody and accompaniment. The lyrics are written below the notes.

ン ガ ネ ス リ ショウ シン ガ ネ

The fifth line of music continues the melody and accompaniment. The lyrics are written below the notes.

The sixth line of music shows the final notes of the piece, ending with a double bar line. The lyrics are not present for this line.

文 献

- 1) 沖縄美術全集刊行委員会 沖縄タイムス社 (1989)
- 2) 琉球びんがた歴史と技法 琉球びんがた事業協同組合 山陽印刷 1987
- 3) 芸術祭運営委員会 芸術祭総覧 沖縄タイムス社 1963
- 4) 琉球古典舞踊の型 芸術祭運営委員会 沖縄タイムス社 1976
- 5) 中山盛茂編集 琉球史辞典 琉球文教図書株式会社 1969
- 6) 沖縄県工芸振興センター 沖縄の伝統工芸新報出版印刷 1979
- 7) 真栄田義見 三隅治雄 源武雄 沖縄文化史辞典 東京堂出版 1972
- 8) 宜保栄治郎 琉球舞踊入門 那覇出版社 1979
- 9) 沖縄伝統芸能の会 琉球舞踊-鑑賞の手引- 沖縄県商工労働部観光・文化局文化振興課 1985
- 10) 陳武雄 台湾民族文物図録 中華民國 70年 6月 台中市立文化中心収蔵
- 11) 山内盛彬 民族芸能全集Ⅲ 琉球の舞踊と護身舞踊 民族芸能全集刊行会 1963
- 12) 三隅治雄 沖縄の芸能 邦楽と舞踊刊 1969
- 13) 与那覇政牛 ふるさとの歌 南西印刷 1962
- 14) 金城光子 沖縄の民俗舞踊に関する研究 -運動表現特質について- 第24回九州体育学会抄録 1974
- 15) 金城光子 沖縄の踊りの表現特質に関する研究-古典女踊りについて- 第26回日本体育学会抄録 P194 1975
- 16) 石野径一郎 琉歌つれづれ 株式会社東邦書房(1973)
- 17) 金城光子 沖縄の民俗舞踊に関する研究 ~運動表現特質について~ 第26回日本体育学会抄録 P194 1975
- 18) 金城光子 沖縄の踊りの表現特質に関する研究(1) ~古典舞踊「かぎやで風」について 琉球大学教育学部紀要 第19集第2部 pp51~67 1975
- 19) 金城光子 沖縄の踊り(1) ~古典舞踊「かぎやで風」 ~舞踊譜体系化をめざして~ 琉球大学教育学部紀要 第19集第2部 pp88~72 1975
- 20) 金城光子 沖縄の踊りの表現特質に関する研究(2) ~古典舞踊「諸屯」について~ 琉球大学教育学部紀要 第20集第2部 pp117~162 1976
- 21) 金城光子 沖縄の踊り(2) ~古典舞踊「諸屯」~舞踊譜の体系化をめざして~ 琉球大学教育学部紀要 第20集第2部 pp163~209 1976
- 22) 金城光子 沖縄の踊りの表現特質に関する研究(3) ~男踊りについて~ 第29回日本体育学会大会号 p182 1977
- 23) 金城光子 沖縄の踊りの表現特質に関する研究(3) ~古典舞踊「高平良万歳」について~ 琉球大学教育学部紀要 第21集第2部 pp33~96 1977
- 24) 金城光子 沖縄の踊り(3) ~古典舞踊「高平良万歳」 ~舞踊譜の体系化をめざして~ 琉球大学教育学部紀要 第21集第2部 pp97~158 1977
- 25) 金城光子 沖縄の踊りの表現特質に関する研究(4) ~古典・女踊り「伊野波節」について~ 琉球大学教育学部紀要 第27集第2部 pp213~245 1984
- 26) 金城光子 沖縄の踊り(4) ~古典舞踊・女踊り「伊野波節」 ~舞踊譜の体系化をめざして~ 琉球大学教育学部紀要 第26集第2部 pp73~124 1983
- 27) 金城光子・花城洋子 舞踊動作の表現リズムに関する研究 ~琉球舞踊とインド舞踊のEMGパターンについて~ 琉球大学教育学部紀要 第23集第2部 pp61~83 1979
- 28) 金城光子・花城洋子 舞踊動作の表現リズムに関する研究〔Ⅱ〕 ~琉球舞踊・日本舞踊・インド舞踊の筋放電及び呼吸パターンについて~ 琉球大学教育学部紀要 第24集第2部 pp50~60 1980
- 29) 金城光子・花城洋子 アジアの民族舞踊に関する比較舞踊学的研究 ~舞踊動作の表現リズム〔Ⅲ〕 ~琉球舞踊・日本舞踊・インド舞踊の筋放電及び呼吸パターンについて~

- 琉球大学教育学部紀要 第25集第2部  
pp49～91 1981
- 30) 金城光子 沖縄の踊りの形式について 第25回九州体育学会抄録 p58 1975
- 31) 金城光子 沖縄の踊りの表現特質に関する研究 ～古典女踊りについて～ 第26回日本体育学会抄録 p194 1975
- 32) 東京国立文化財研究編 改訂標準日本舞踊譜 創思社 1960
- 33) 金城光子・大城宣武 東南アジア民族舞踊の印象空間；I 琉球大学教育学部紀要 第28集第2部 pp67～88 1985
- 34) 金城光子 琉球舞踊の要素評定による認知体系 日本体育学会第30回大会号 p175 1979
- 35) 舞踊の鑑賞構造に関する研究〔V〕～舞踊要素評定による琉球舞踊の認知体系 琉球大学教育学部紀要 第24集第2部 pp65～75 1980
- 36) 金城光子 舞踊の鑑賞語・評価語 ～琉球・沖縄舞踊の鑑賞語 琉球大学教育学部紀要第17集第2部 pp201～224 1973
- 37) 金城光子編 学校における沖縄の踊り 沖縄の踊り教材研究会 サン印刷 1980
- 38) 金城光子 舞踊における美への視点 九州大学出版会 1988
- 39) 金城光子編 沖縄の踊り ～教材化の方法を求めて～ 沖縄県女子体育連盟 コロニー印刷 1988
- 40) 金城光子 琉球舞踊 I II III IV 沖縄協会 第8回沖縄研究奨励賞受賞論文集 1986
- 41) 金城光子 琉球舞踊譜(1) ～譜語と記号～ 琉球大学教育学部紀要 第37集第2部 1990
- 42) 金城光子 琉球舞踊譜(2) ～かぎやで風譜～ 琉球大学教育学部紀要 第37集第2部 1990
- 43) 金城光子 琉球舞踊譜(3) ～古典舞踊かぎやで風 女踊り・老人老女踊り譜～ 琉球大学教育学部紀要 第41集第2部 1992
- 44) 金城光子 琉球舞踊譜(4) ～男踊り・上り口説譜～ 琉球大学教育学部紀要 第41集第2部 1992
- 45) 金城光子 琉球舞踊譜(5) ～女踊り・かせかけ譜～ 琉球大学教育学部紀要 第42集第2部 1993
- 46) 金城光子 琉球舞踊譜(6) ～女踊り・天川譜～ 琉球大学教育学部紀要 第42集第2部 1993
- 47) 金城光子・喜瀬慎仁 琉球芸能の基本的技法と指導の実際(1) ～舞踊と歌・三線～ 琉球大学教育学部紀要 第43集第2部 1993
- 48) 金城光子：沖縄の伝統芸能における学習過程の研究(1) ～琉球舞踊の学習内容と方法～ 琉球大学教育学部紀要 第43集第2部 1993
- 49) 野村流古典音楽保存会工工四拾遺 三ッ星印刷所 1993
- 50) 野村流古典音楽保存会工工四 舞踊曲工工四 第1巻 三ッ星印刷所 1969
- 51) 金城光子：琉球舞踊譜(7) 一女踊り・伊野波節譜一琉球大学教育学部紀要 第44集第2部 1994
- 52) 金城光子・喜瀬慎仁：琉球芸能の基本的技法と指導の実際(2) 一舞踊小道具と工工四の読み方・歌い方一 琉球大学教育学部紀要 第44集第2部 1994